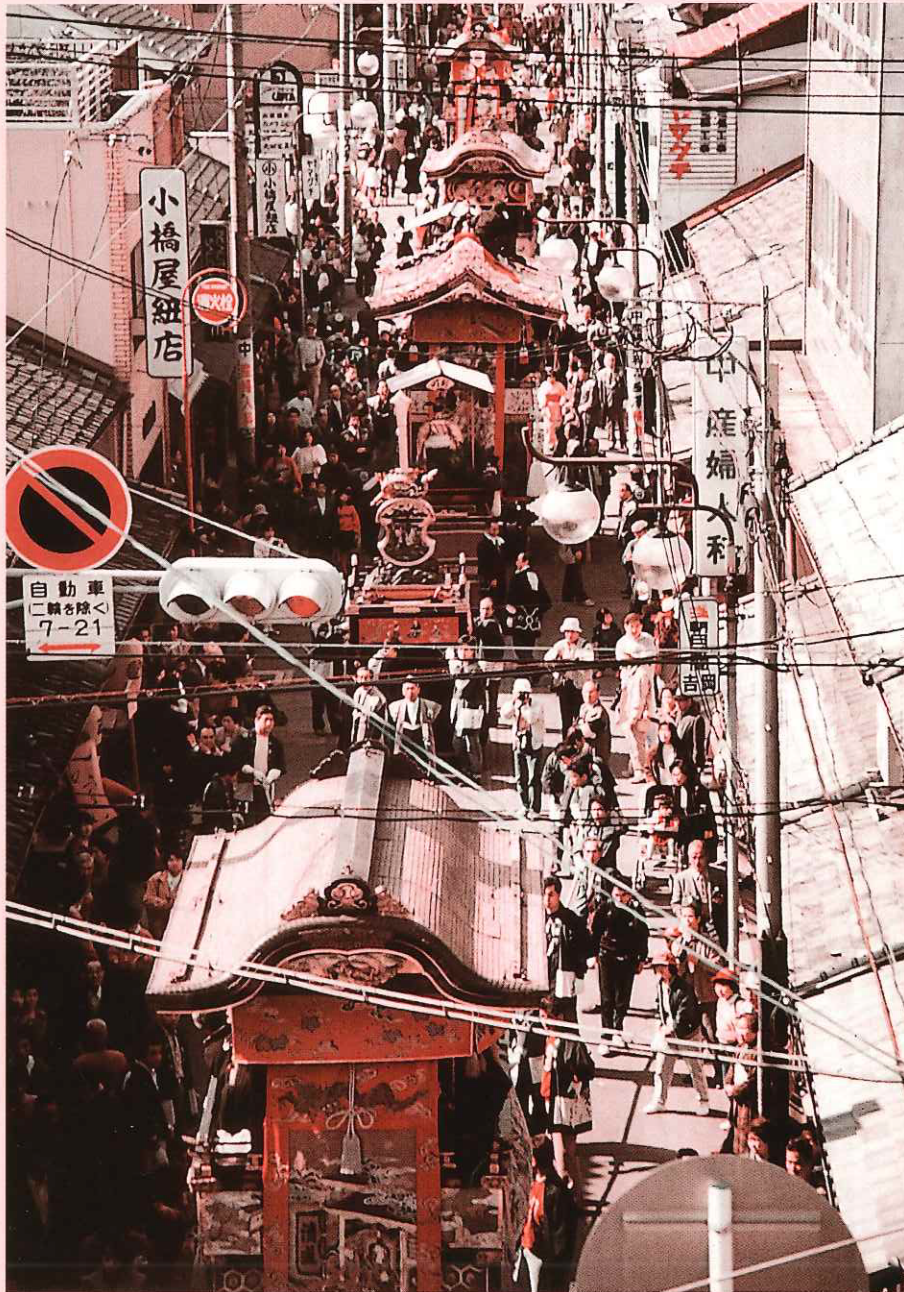


# 三重県の文化財保護

— 平成 13 年度 —



上野天神祭ダンジリ行事

2003.3

三重県教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局 スポーツ・生涯学習課 文化財保護室（現 生涯学習分野 文化財保護チーム）が、平成13年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡斎宮跡及び埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、斎宮歴史博物館及び三重県埋蔵文化財センターが、別途年報として報告している。
- 3 市町村指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町村教育委員会からの報告をもとに記載した。

## 目 次

I 文化財の指定・登録	(13) 天然記念物食害対策事業……………33
1 国指定文化財の指定……………1	2 県費補助事業（県単独事業分）……………34
2 登録有形文化財の登録……………2	(1) 建造物保存修理事業……………34
3 三重県文化財保護審議会……………9	(2) 史跡等保存整備事業……………34
4 三重県指定文化財の指定……………10	(3) 有形文化財保存整備事業……………35
5 三重県指定文化財の追加指定及び名称変更……………15	(4) 有形民俗文化財修理事業……………36
6 記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財の選択……………16	(5) 指定文化財記録作成事業……………36
7 三重県指定文化財の一部解除及び解除……………17	(6) 天然記念物保存管理事業……………36
8 市町村指定文化財の指定・解除……………18	3 県費補助事業（国間接補助事業分）……………37
II 文化財の調査事業	(1) 指定文化財管理事業……………37
1 特別天然記念物カモシカ調査……………21	(2) 伝統文化保存団体等活動基盤整備事業……………37
(1) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査……………21	4 熊野古道世界遺産登録推進事業……………37
(2) 紀伊山地カモシカ保護地域特別調査……………21	5 民間による助成……………38
(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員 並びに保護行政担当者会議……………22	IV 文化財の管理・普及
2 天然記念物ネコギギ天然記念物緊急調査……………22	1 登録審査……………40
3 天然記念物オオサンショウウオ 保護管理指針策定事業……………23	(1) 銃砲刀剣類登録審査会……………40
4 近世亀山藩関係史料史料調査……………24	(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会……………40
5 桑名松平伝来資料史料調査……………24	(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会……………41
6 町内遺跡詳細分布調査……………24	2 文化財の管理……………41
7 埋蔵文化財緊急発掘調査……………25	(1) 指定文化財説明板設置……………41
(1) 国史跡斎宮跡緊急発掘調査……………25	(2) 文化財パトロール……………41
(2) 県営ほ場整備事業等発掘調査……………25	(3) 文化財保護にかかる会議……………45
(3) 市町村遺跡発掘調査……………25	(4) 発掘調査届・通知等……………45
III 文化財の保護事業	(5) 埋蔵物の文化財認定……………47
1 県費補助事業（国補助事業上乘せ分）……………29	(6) 出土文化財の譲与……………49
(1) 建造物保存修理事業……………29	3 国・県指定文化財の現状変更等……………49
(2) 建造物防災施設事業……………29	(1) 国指定文化財現状変更等……………49
(3) 伝統的建造物群保存事業……………29	(2) 県指定文化財現状変更等……………53
(4) 重要無形文化財保持団体補助事業……………29	4 文化財の公開・普及……………55
(5) 民俗文化財調査事業……………29	(1) 文化財講習会……………55
(6) 民俗文化財伝承・活用等事業……………30	(2) 第43回近畿・東海・北陸ブロック 民俗芸能大会……………55
(7) 史跡等保存整備事業……………30	(3) 紀伊半島民俗芸能祭……………56
(8) 地方拠点史跡等総合整備事業……………32	(4) 文化財保護強調週間行事……………56
(9) 歴史の道整備活用推進事業……………32	(5) 文化財防火デー関連行事実施状況……………57
(10) 史跡等買上げ事業……………32	
(11) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業……………33	
(12) 文化財等保存活用施設整備事業……………33	

[表紙 上野天神祭ダンジリ行事]

[裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数]

# I 文化財の指定・登録

## 1 国指定文化財の指定

- ・種 別 重要無形民俗文化財
- 名 称 上野天神祭のダンジリ行事
- 所 在 地 上野市
- 保 持 団 体 上野文化美術保存会
- 指 定 基 準
- 指 定 日 平成14年2月12日（文部科学省告示第13号）
- 概 要 上野天神祭のダンジリ行事は、三重県上野市に鎮座する菅原神社の秋祭りとして行われ、印、ダンジリ、鬼行列などが町内を巡行する行事である。

この行事は、10月の23・24・25日に、上野天神宮などとも呼ばれる菅原神社の秋祭りの行事として行われる。23日は宵山で各ダンジリ町では印、ダンジリを引き出して飾り付けを行う。24日は足揃えの儀が行われ、ダンジリがそれぞれの町内を巡行し、鬼行列も相生町から三之町筋を練る。25日は本祭りでは御輿の渡御に続いて鬼行列、印、ダンジリが巡行する。

この行事は、御輿の渡御を中心とする祭りに仮装の行列や作り物が加わり、現在のような鬼行列や印、ダンジリで賑わう形態を整えるようになったものである。印は依代と考えられるもので、それを囃すダンジリと、鬼行列と呼ばれる仮装行列が続く、類例の少ない貴重な行事である。

- ・種 別 史 跡
- 名 称 伊勢国府跡
- 時 代 奈良～平安時代
- 所 在 地 鈴鹿市広瀬町字南野698ほか
- 所 有 者 個人・鈴鹿市ほか
- 指 定 基 準 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準 史跡の部二による。
- 指 定 日 平成14年3月19日（文部科学省告示第38号）
- 概 要 古代伊勢国の政治の中心地である国府の跡である。この遺跡は、鈴鹿川中流北側の河岸段丘上にあり、長者屋敷遺跡と呼ばれ古くから古代の瓦が大量に出土する場所として知られていた。最初の発掘調査は、昭和32年に京都大学の藤岡謙二郎氏によって行われ、鈴鹿関との関係から軍団機能を兼ね備えた奈良時代の国府跡と考えられた。本格的な発掘調査は、平成4年から鈴鹿市教育委員会が国庫補助を受けて実施しており、政庁跡や役所関係の遺構が多数確認され、この遺跡が奈良時代中頃から平安時代初めまでの伊勢国府の跡であることが明らかになった。

国府の中心施設である政庁跡は建物基壇の遺存状況がきわめて良好である。政庁は正殿、後殿及び東西の脇殿とこれらをつなぐ軒廊などからなり、東西約80m、南北約110mの築地塀で囲まれている。政庁の建物はすべて瓦葺礎石建物で、建物配置や規模は近江国府政庁と酷似している。政庁区画の西側には政庁とほぼ同じ規模の施設（「西院」）がある。

政庁から200m程離れた他の2地区からも、数棟の大型の瓦葺礎石建物がみつかり、中には屋根瓦の一部が倒壊したままの状態で見つかったものもある。これらは国司館など国府の役所に関係する建物と考えられる。

また、文字瓦や鬼瓦を含む大量の瓦などが出土している。さらに、政庁などの周辺には都城の条坊に類似した土地の区画の存在も指摘されている。

古代に大国にランクされ、また鈴鹿関を所管する重要な伊勢国の国府跡であり、国府全体の構造を把握できる重要な遺跡である。

古代に大国にランクされ、また鈴鹿関を所管する重要な伊勢国の国府跡であり、国府全体の構造を把握できる重要な遺跡である。

- ・種 別 名 勝
- 名 称 旧諸戸氏庭園
- 時 代 明治時代末～大正時代初期
- 所 在 地 桑名市大字桑名字鷹場663-5、太一丸22-2
- 所 有 者 桑名市
- 指 定 基 準 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準 名勝の一部による。
- 指 定 日 平成13年8月13日（文部科学省告示第139号）
- 概 要 旧諸戸氏庭園は、揖斐川右岸沿いの桑名市街地にあり、二代目諸戸清六の新邸宅の庭園として、明治末から大正初期に築造されたものである。庭園は、重要文化財に指定されている洋館と和館が一体となった主屋に南面する庭園を主要部分とし、この部分には創建当時の様相がよく残っている。和館正面を中心として東西に広がりをもつ、洋館前の芝生広場、東西に長い園池、緩やかな高まりを持つ築山が奥行きをなして、開放的な印象を与えている。園池の周囲は大ぶりの石を用いて岸とし、和館の濡れ縁前には枯山水を設け、園内の要所には各種の石灯籠が配置されている。  
この東側には、創建当時は洋式の円形花壇が設けられていたが、その後改変され、現在では主要部分にあわせた雰囲気をもつ日本庭園となっている。主屋北側の部分は、かつて茶室があったところから、茶庭として整えられた露地風の遺構が残っている。  
近代桑名の豪商諸戸氏が築造した庭園で、明治末から大正初期の事例として貴重なものである。

（追加指定）

- ・種 別 重要文化財（書跡・典籍）
- 名 称 本居宣長稿本並関係資料
- 員 数 1949点（うち今回追加指定1591点）
- 時 代 江戸時代
- 所 在 地 松阪市殿町1536-7
- 所 有 者 松阪市（管理団体 財団法人鈴屋遺蹟保存会）
- 指 定 日 平成13年6月22日（文部科学省告示第110号）
- 概 要 本居家より『遺言書』をはじめとした宣長関係資料が松阪市へ寄贈され、整理が終わったのを契機に、本居家伝来の宣長資料が一括して追加指定された。宣長の全体像を明らかにするもので、その学問、思想を知る上で貴重である。

## 2 登録有形文化財の登録

- ・名 称 江の浦トンネル（旧 長島隧道）
- 員 数 1基
- 所 在 地 北牟婁郡紀伊長島町長島～海野
- 構造・形式 煉瓦造、延長321m、幅員4.6m
- 年 代 明治44年
- 所 有 者 紀伊長島町
- 登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 登録日 平成13年4月24日（平成13年5月15日付け、文部科学省告示第84号）
- 登録番号 24-0025
  
- ・名 称 古里歩道トンネル（旧 海野隧道）
- 員 数 1基
- 所 在 地 北牟婁郡紀伊長島町海野～道瀬
- 構造・形式 煉瓦造、延長208m、幅員3.2m
- 年 代 大正3年
- 所 有 者 国（国土交通省）

登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登録日 平成13年4月24日（平成13年5月15日付け、文部科学省告示第84号）  
登録番号 24-0026

・名称 道瀬歩道トンネル（旧 道瀬隧道）

員数 1基

所在地 北牟婁郡紀伊長島町道瀬～三浦

構造・形式 煉瓦造、延長308m、幅員3.2m

年代 大正4年

所有者 国（国土交通省）

登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録日 平成13年4月24日（平成13年5月15日付け、文部科学省告示第84号）

登録番号 24-0027

特徴・評価 明治40年度から20ヶ年の継続事業で行われた熊野街道（現在の国道42号）改修事業の一環で建設された6基の隧道のうち、北側に位置する3基の煉瓦造隧道である。最北端に位置するのが、江の浦トンネル（旧 長島隧道）、その南に古里歩道トンネル（旧 海野隧道）、道瀬歩道トンネル（旧 道瀬隧道）と続く。設計は県技師の岩井藤太郎、監督は県技手の天野久が担当した。

上部を盾状の迫り石で半円状に型どられた坑口に、笠石を載せた煉瓦造坑門を両端に構える意匠は3基ともほぼ同一である。内部は煉瓦造部分と素掘部分が混在する。古里・道瀬歩道トンネルには、当初想定していたガス灯照明の道具を収納するため、鋸歯飾付煉瓦造ニッチ（格納庫）が備えられている。

現在も、町道・歩道トンネルとして活用されている。

・名称 伊勢河崎商人館主屋

員数 1棟

所在地 伊勢市河崎2-25-32

構造・形式 木造2階建、瓦葺、建築面積205㎡

年代 明治中期

所有者 伊勢市

登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

登録日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）

登録番号 24-0028

・名称 伊勢河崎商人館離れ

員数 1棟

所在地 伊勢市河崎2-25-32

構造・形式 木造2階建、瓦葺、建築面積15㎡

年代 明治中期

所有者 伊勢市

登録基準 二 造形の規範となっているもの

登録日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）

登録番号 24-0029

・名称 伊勢河崎商人館南蔵一

員数 1棟

所在地 伊勢市河崎2-25-32

構造・形式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積66㎡

年 代 慶応3年  
所 有 者 伊勢市  
登 録 基 準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）  
登 録 番 号 24-0030

・名 称 伊勢河崎商人館南蔵二  
員 数 1棟  
所 在 地 伊勢市河崎2-25-32  
構 造 ・ 形 式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積81㎡  
年 代 明治25年  
所 有 者 伊勢市  
登 録 基 準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登 録 日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）  
登 録 番 号 24-0031

・名 称 伊勢河崎商人館南蔵三  
員 数 1棟  
所 在 地 伊勢市河崎2-25-32  
構 造 ・ 形 式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積41㎡  
年 代 明治中期  
所 有 者 伊勢市  
登 録 基 準 二 造形の規範となっているもの  
登 録 日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）  
登 録 番 号 24-0032

・名 称 伊勢河崎商人館北蔵一  
員 数 1棟  
所 在 地 伊勢市河崎2-25-32  
構 造 ・ 形 式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積97㎡  
年 代 明治中期  
所 有 者 伊勢市  
登 録 基 準 二 造形の規範となっているもの  
登 録 日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）  
登 録 番 号 24-0033

・名 称 伊勢河崎商人館北蔵二  
員 数 1棟  
所 在 地 伊勢市河崎2-25-32  
構 造 ・ 形 式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積102㎡  
年 代 明治中期  
所 有 者 伊勢市  
登 録 基 準 二 造形の規範となっているもの  
登 録 日 平成13年8月28日（平成13年9月14日付け、文部省告示第148号）  
登 録 番 号 24-0034

・名 称 伊勢河崎商人館内蔵一

員 数 1 棟  
所 在 地 伊勢市河崎 2-25-32  
構造・形式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡  
年 代 天保年間  
所 有 者 伊勢市  
登録基準 二 造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年 8 月28日（平成13年 9 月14日付け、文部省告示第148号）  
登録番号 24-0035

・名 称 伊勢河崎商人館内蔵二  
員 数 1 棟  
所 在 地 伊勢市河崎 2-25-32  
構造・形式 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積25㎡  
年 代 天保 6 年  
所 有 者 伊勢市  
登録基準 二 造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年 8 月28日（平成13年 9 月14日付け、文部省告示第148号）  
登録番号 24-0036

・名 称 伊勢河崎商人館サイダー検査室  
員 数 1 棟  
所 在 地 伊勢市河崎 2-25-32  
構造・形式 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積12㎡  
年 代 昭和初期  
所 有 者 伊勢市  
登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登録日 平成13年 8 月28日（平成13年 9 月14日付け、文部省告示第148号）  
登録番号 24-0037

・名 称 伊勢河崎商人館応接室及び前室  
員 数 1 棟  
所 在 地 伊勢市河崎 2-25-32  
構造・形式 木造平屋建、瓦葺、建築面積 9 ㎡  
年 代 大正期  
所 有 者 伊勢市  
登録基準 二 造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年11月20日（平成13年12月 4 日付け、文部省告示第172号）  
登録番号 24-0038

・名 称 伊勢河崎商人館サイダーろ過施設  
員 数 1 棟  
所 在 地 伊勢市河崎 2-25-32  
構造・形式 鉄筋コンクリート造、鉄板葺、建築面積 3 ㎡  
年 代 昭和初期  
所 有 者 伊勢市  
登録基準 二 再現することが容易でないもの  
登録日 平成13年11月20日（平成13年12月 4 日付け、文部省告示第172号）

登録番号 24-0039

特徴・評価 伊勢市を貫流する勢田川沿いに形成された河岸問屋街の河崎にあり、おもに酒卸業で栄えた旧株式会社小川酒店の一連の施設である。

街路沿いに建つ主屋は木造2階建、切妻造・妻入、屋根は一部本瓦葺で、正面が街路に対して鍵型に突き出ているため、壁面を下見板で囲った特徴ある外観と併せて、独特な景観を創り出している。主屋の北東にある離れは、小規模な木造2階建、切妻造、棧瓦葺で、商家における内向きの建物である。主屋西側の門を入れて左手にある応接室は小規模な瓦葺の洋館で、前室を伴い室内には暖炉を備え、洋風接客空間を形成している。

街路を挟んで主屋の対面に並んで建つ南蔵一～三の3棟は、勢田川沿いの丁寧な野面積みの基礎の上に建ち、切妻造・妻入、本瓦葺で、黒染の下見板張の重厚な外観と併せて、舟運で栄えた町の景観をよく伝えている。

敷地の北側に建つ北蔵一・二は、いずれも切妻造、本瓦葺で、平屋建の前室と2階建の後室からなり、酒蔵や漬物製造に使われ、商家の多様な機能の一端を物語る施設である。

主屋の北側にある内蔵一・二は、やや規模の小さい切妻造、本瓦葺で、衣装や日用品等の収納用の土蔵である。江戸後期の天保年間の建設で、近世の屋敷構を伝えるものである。

鉄筋コンクリート造平屋建のサイダー検査室は、小川酒店が昭和期に入ってサイダー工場を併設して生産販売するために設けられたもの。サイダーろ過施設は、西裏門近くに建つ正面間口2.5m×奥行1.2m、高さ約6mの鉄筋コンクリート造構造物で、下部は正面に2連のアーチによる開口を設け、上部は水槽状に造られている。サイダー製造を偲ばせる数少ない施設のひとつである。

現在、伊勢市により伊勢河崎商人館として整備が図られている。

・名称 近鉄宇治山田駅本屋  
員数 1棟  
所在地 伊勢市岩淵2-1-43  
構造・形式 鉄筋コンクリート造3階建（塔屋付）、建築面積3,201㎡  
年代 昭和6年  
所有者 近畿日本鉄道株式会社  
登録基準 二造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年11月20日（平成13年12月4日付け、文部省告示第172号）  
登録番号 24-0040

特徴・評価 近鉄宇治山田駅は、参宮急行電鉄（現在の近鉄）の終着駅として昭和6年に建設されたもので、現在も伊勢志摩と名古屋・大阪を結ぶ近鉄の拠点駅となっている。設計は元鉄道省建築課長の久野節である。

本屋は、高架線ホームに対応した間口約120mの鉄骨鉄筋コンクリート造3階建ビルで、西南端に5階建の塔屋が建てあげられる。外観はクリーム色のタイル、テラコッタ（陶器製の建築装飾）やスペイン瓦によりスパニッシュ様式で仕上げられ、繊細な装飾細部とあいまって優美な形態をみせている。建物中央部の入口付近には八角形の明かり窓、飾り柱、テラコッタが多用され、長大な駅舎のアクセントとなっている。

・名称 三重大学三翠会館  
員数 1棟  
所在地 津市上浜町1515  
構造・形式 木造2階建、鉄板葺、建築面積309㎡  
年代 昭和11年  
所有者 国（文部科学省）  
登録基準 二造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年2月14日（平成13年3月12日付け、文部省告示第32号）



登録番号 24-0041

特徴・評価 三重大学の母体のひとつである三重高等農林学校の開校10周年事業として建設された同窓会館。木造、鉄板葺（旧スレート葺）で西面して建ち、北寄りの2階建部分の主体部は正面に車寄せを突出し、屋根は寄棟造を基本とするが、正面中央には切妻破風を設けて正面観を強調している。南寄りには平屋の会議室棟が付属する。外壁は下見板張りペイント塗仕上で、柱型や窓枠を多用し、変化に富んだ屋根と併せて派手な外観を構成する。

三重高等農林学校関連の唯一の現存建物であり、昭和戦前期に建築された地方の公共建築の特色をよく残している。

・名称 寺村家住宅主屋  
員数 1棟  
所在地 上野市福居町3337-1  
構造・形式 木造平屋建、瓦葺、建築面積144㎡  
年代 江戸時代後期  
所有者 寺村壽夫、寺村智栄子  
登録基準 二 造形の規範となっているもの  
登録日 平成13年2月14日（平成13年3月12日付け、文部省告示第32号）  
登録番号 24-0042

・名称 寺村家住宅前蔵  
員数 1棟  
所在地 上野市福居町3337-1  
構造・形式 土蔵造2階建、瓦葺、建築面積30㎡  
年代 江戸時代後期  
所有者 寺村壽夫、寺村智栄子  
登録基準 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの  
登録日 平成13年2月14日（平成13年3月12日付け、文部省告示第32号）  
登録番号 24-0043

特徴・評価 もと両替商森川六右衛門の居宅で、旧上野城下に残る最古（18世紀後半の可能性）と考えられる町家である。

主屋は、角地に建ち西側を正面とした入母屋造平屋建、棧瓦葺、妻入で、表側を全面店舗とし、その裏に居室を配している。間仕切や内部造作の改造は大きいのが、軒部や軒の低い外観及び大黒柱列が通し柱となって棟木を支える構造は古い姿をよく残している。

土蔵は、主屋の南に棟を西側表通りに平行に配して建てられる。2階建、漆喰塗りの土蔵で、切妻造の本体の前後及び主屋側の北面に一段下げて下屋を付属している。表通り側の外壁腰部分のなまこ壁は「鼓繫ぎ」と呼ばれる他地区ではあまりみられない独特のモチーフになり、妻入の主屋と並んで独特の景観を形成している。

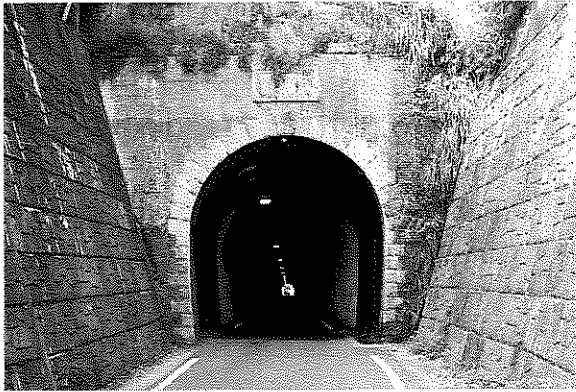
建築年代の古さと独特な外観から、歴史的な景観をよく維持しており、上野城下の町並みを構成する要素として重要な存在である。



伊勢国府跡（鈴鹿市）



旧諸戸氏庭園（桑名市）



江の浦トンネル（旧長島隧道）（紀伊長島町）



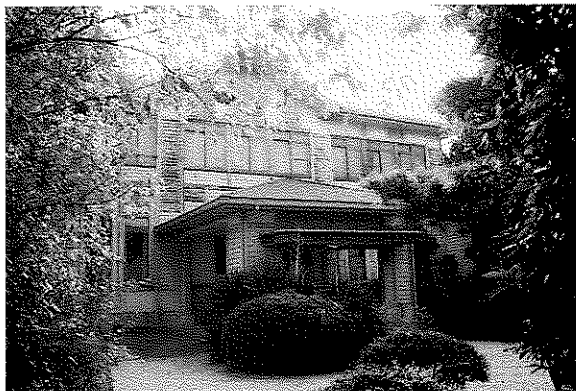
近鉄宇治山田駅本屋（伊勢市）



伊勢河崎商人館主屋（伊勢市）



伊勢河崎商人館南蔵一～三（伊勢市）



三重大学三翠会館（津市）



寺村家住宅主屋・前蔵（上野市）

### 3 三重県文化財保護審議会

#### ・三重県文化財保護審議会委員

氏名	担当分野	現職
鈴木嘉吉	建造物	元奈良国立文化財研究所長
菅原洋一	建造物	三重大学助教授
河原由雄	絵画・工芸	愛知県立大学教授
河田貞	絵画・工芸	帝塚山大学教授
水野敬三郎	彫刻	東京芸術大学名誉教授・新潟県立近代美術館長
熊田由美子	彫刻	立命館大学講師・東京芸術大学奈良古美術研究室研究員
赤川一博	彫刻	四日市市立博物館主幹（学芸員）
稲本紀昭	文書	京都女子大学教授
恵良宏	文書	皇學館大学教授
岡田照子	民俗	岐阜女子大学名誉教授（副会長）
植木行宣	民俗	京都学園大学教授
八賀晋	史跡・考古	三重大学名誉教授
本田裕	地質鉱物	三重大学助教授
南川幸	植物	名古屋女子大学短期大学部客員教授（会長）
伊藤進一郎	植物	三重大学助教授
角田保	動物	元三重短期大学教授
名越誠	動物	奈良女子大学名誉教授・東大阪短期大学教授

#### 第1回審議会

期 日 平成13年9月14日（金）  
 場 所 三重県勤労者福祉会館 第二会議室（津市栄町）  
 内 容 諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問  
 審議 平成13年度 三重県指定等候補文化財の選考及び調査について  
 平成12年度 三重県指定等候補文化財の調査について  
 三重県指定文化財の一部解除について  
 報告 平成13年度 文化財保護事業について  
 指定文化財の現状変更等について  
 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録推進について  
 視察 重要文化財 専修寺御影堂保存修理現場

#### 第2回審議会

期 日 平成14年2月18日（月）  
 場 所 三重県勤労者福祉会館 第二会議室（津市栄町）  
 内 容 審議 平成13年度 三重県指定等候補文化財の調査について  
 平成13年度 三重県指定等文化財の答申について  
 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申  
 報告 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録推進について  
 平成13年度 国指定等文化財について  
 指定文化財の現状変更等について

#### 4 三重県指定文化財の指定

- 種別 有形文化財（彫刻）
- 名称 銅造阿弥陀如来立像
- 員数 1 軀
- 時代 鎌倉時代末
- 所在地 津市中河原554
- 所有者 潮音寺（代表役員 村上 智英）
- 告示 三重県教育委員会告示第7号
- 指定日 平成14年3月18日
- 指定番号 彫102

概要 津市中河原に所在する潮音寺本尊として、安置される阿弥陀如来立像である。像高39.0cm、銅造。左手は緩やかに垂下して掌を前にして刀印を、右手は肘を曲げて掌を前にして立てて施無畏印を結ぶ。両足はかかとを表さず、蓮華座の中央に足をそろえて立つ。現在では脇侍・光背を欠き独尊であるが、左手を刀印とするところから、もとは善光寺式阿弥陀三尊の中尊であったと考えられる。

小型の像であるが、体全体を、頭体幹部・両肩部・両手首先の5個体に分けて鑄造されている。頭体幹部は厚さ5～2mmと薄く鑄造され、背面腰部に透切がみられる。両肩部は、肩から袖先までを一鑄とし、蟻ホゾで体幹部に留められ、さらに両手首先を鋏留めする。

三重県には比較的多くの善光寺式阿弥陀三尊像が伝存している。本像は両脇侍と光背を失っているが、鎌倉時代末（14世紀初）に遡る古像であり、両袖部の精緻な鑄造技術など、県指定文化財に相応しいものである。

- 種別 有形文化財（彫刻）
- 名称 銅造阿弥陀如来立像
- 員数 1 軀
- 時代 鎌倉時代後半
- 所在地 鈴鹿市岸岡町2815
- 所有者 光勝寺（代表役員 衣斐 賢讓）
- 告示 三重県教育委員会告示第7号
- 指定日 平成14年3月18日
- 指定番号 彫103

概要 鈴鹿市岸岡町の光勝寺の本尊として、安置される阿弥陀如来立像である。像高127.6cm、銅造の大型の善光寺式阿弥陀三尊（一光三尊）の中尊で、現在は、両脇侍と大光背・須弥座が失われている。左手は緩やかに垂下し掌を前にして刀印を、右手は肘を曲げて掌を前にして立てて施無畏印を結ぶ。両足先を軽く開いて蓮華座の上に直立している。体全体は足下のホゾまでを含めて、一鑄。現在、表面の鍍金は確認できないが、足ホゾに鍍金痕跡が認められるところから、当初は表面に鍍金されていたものと考えられる。

製作年代は鎌倉時代後半（13世紀末頃）。善光寺式阿弥陀三尊像の中でかなり大型の像であり、また、同時代の銅像としても比較しても大型で、鑄造技法も優れている。像の正面の衣は強い宋風の衣皺を示すが、背面は通常であり、宋風移入の状況を示している。

製作年代、大きさ、宋風移入の状況などから、三重県の彫刻史上、重要な作例であり、県指定文化財に相応しいものである。

- 種別 有形文化財（彫刻）
- 名称 木造観音菩薩坐像・木造勢至菩薩立像
- 員数 2 軀
- 時代 鎌倉時代
- 所在地 亀山市西町524

所有者 遍照寺（代表役員 白井 俊乗）  
告示 三重県教育委員会告示第7号  
指定日 平成14年3月18日  
指定番号 彫104  
概要

現在、亀山市遍照寺の本尊阿弥陀如来立像（県指定有形文化財（彫刻）：平成11年3月17日指定：像高99.1cm）の両脇侍として安置される菩薩像であるが、像高は観音菩薩坐像30.8cm、勢至菩薩立像45.6cmの小像で、規模・作風から、現在の中尊とは当初から三尊形式をなすものではないと考えられる。

観音菩薩坐像は、檜の寄木造、漆箔仕上げ、玉眼。頭部に天冠台を付け、やや前かがみの姿勢で両手を腹部の前に出し、左膝を立てた跪坐像である。頭部内面の玉眼押さえ板の上方に残る墨書銘から、鎌倉時代中期、建長4年（1252）、院派の仏師によってつくられたことが、確認されている。

勢至菩薩立像は、檜の割刳造、漆箔仕上げ、玉眼。頭部に天冠台をつけ、両膝をわずかに屈め、両足を外側にやや開き、合掌する立像である。両像は、ともに規模、作風が一致するところから、同時期同工と考えられる。

阿弥陀来迎に伴い飛来する菩薩を坐像（観音）と立像（勢至）に構成した、彫刻による来迎形式として稀な作例である。裳や衣端のうねりの強い点は、当代に流行した宋代仏画に通じる特色であるが、誇張し過ぎることなく、まだ穏やかにまとめられている。やや細面の小つくりな面貌に藤原彫刻の余韻を残しながら、胸部から腹部への現実感ある表現、衣文、頬の張りに鎌倉時代の新しい傾向がうかがえる。鎌倉中期、新時代の傾向を撰取しつつあった院派中枢仏師の作風をうかがい得る基準作例として、県指定文化財にふさわしいものと言える。

・種別 有形文化財（工芸品）  
名称 奥知勇収集古伊賀・古信楽器物類 一括  
員数 34件  
時代 室町時代～江戸時代  
所在地 上野市丸之内57-12（伊賀信楽古陶館）  
所有者 上野市（管理 上野市観光協会（伊賀信楽古陶館））  
告示 三重県教育委員会告示第7号  
指定日 平成14年3月18日  
指定番号 工64

概要 上野市に居住した医師奥知 勇氏が生前長い年月をかけて収集した伊賀・信楽の古陶34件のコレクションで、本人の遺志により上野市に寄贈され、そのために新設された「伊賀信楽古陶館」で保管・陳列され現在に至っている。

伊賀と信楽の古陶を産した地域は極く隣接した場所にあり、陶土を同じくする上、歴史的経緯もあって、品質・形状から両者の遺品を識別することは困難だが、両者の間に個性的な表情が発揮されるようになるのは、特に伊賀焼において、茶陶が焼かれるようになった桃山時代からで、古信楽同様無釉の焼締めながら白土山の陶土を使った古伊賀特有の景色を誇る優れた茶陶を数多く産することになる。

このコレクションの場合も、檜垣文壺や蹲など、主に農事関連の器物類が大勢を占める中世期（室町時代）の遺品と茶碗・茶入・花生・水指など近世になってからの茶陶類とでは、両者の違いが明らかであり、時代性が顕著に窺われる。各作品は、比較的小品ながら、いずれも得がたい佳品ばかりであり、古伊賀・古信楽としては類の稀なコレクションである。今後、産地の特定や製作年代など、なお検討の余地のある作品も若干含まれるが、34件を一括、三重県の指定文化財とすることは、伊賀・信楽焼の様相を解明し、その変遷のあとを辿る上でも成果が期待できるものである。

・種別 有形文化財（書跡）  
名称 松尾芭蕉関係資料

員 数 17点  
時 代 江戸時代  
所 在 地 上野市丸之内117-13 (芭蕉翁記念館)  
所 有 者 勸芭蕉翁顕彰会15点・上野市2点 (管理 勸芭蕉翁顕彰会)  
告 示 三重県教育委員会告示第7号  
指 定 日 平成14年3月18日  
指 定 番 号 書51

概 要 蕉風俳諧の祖である俳聖松尾芭蕉に関連する一連の書跡で、上野市所蔵の2点を含め、上野市芭蕉翁記念館に一括収蔵されているものである。

これらの資料は、芭蕉が江戸や郷里上野、または旅先にて記したもので、芭蕉が凡兆・去来を相手にして巻かれた歌仙で、のちに『猿蓑』に収録された「市中は」歌仙卷子本、芭蕉の師である北村季吟から与えられた俳諧の作法書『埋木』(本文は芭蕉自筆、奥書は北村季吟)、芭蕉病没の2日前に兄半左衛門にあてて自らしたためた遺言状である松尾半左衛門宛書簡などの貴重な書状・書簡類の他、「古里や」発句切、「華咲きて」等五句発句切など高名な発句も含まれる。これらの保存状態は極めて良好であり、いずれも紙本墨書、『埋木』書冊本・列帖装、「市中は」歌仙の卷子、「中尾源三衛門 浜市右衛門あて書状」の卷子本以外は全て掛軸装である。

これらの書状・書簡類は、芭蕉研究の権威、大谷篤蔵氏監修の『芭蕉全図譜』(岩波新書刊)にも採録され、いずれも芭蕉真筆とみて間違いのないものである。上野市出身の芭蕉の真筆資料がこれほどまとまって収蔵されている例はなく、芭蕉研究の基本的な資料としても県指定文化財にふさわしいものと考えられる。

・種 別 有形文化財(古文書)  
名 称 紙本墨書佐藤文書  
員 数 58通  
時 代 室町時代(南北朝時代~戦国時代末)  
所 在 地 津市丸之内9-18  
所 有 者 勸石水会館石水博物館  
告 示 三重県教育委員会告示第7号  
指 定 日 平成14年3月18日  
指 定 番 号 文52

概 要 戦国時代、北畠氏の家臣として、現在の一志郡三雲町肥留に居を構えていた佐藤家に伝来した中世武家文書である。佐藤氏は、もと陸奥国信夫郡信夫荘(現在の福島県福島市付近)を本拠とする土豪で、南北朝の内乱期には、北朝方に属して、奥州をはじめ東国から伊勢・摂津・山城など近畿にまでを転戦し、内乱収束後は、伊勢国司家北畠氏の家臣となり、戦国時代末期まで、その一員として活躍している。

文書群の構成は、南北朝期に南北両朝から佐藤氏への文書を中心とする一群と、内乱収束後の北畠氏発給文書の一群に大別される。前者は、内乱期に佐藤氏が、北朝方に属して転戦する状況が伺える軍勢催促状や軍忠状が主で、観応の擾乱に際しては、北朝の將軍足利義詮などの軍勢催促状と共に、南朝の後村上天皇綸旨や北畠氏御教書、また当時南朝方の足利直冬の軍勢催促状がある。これら一連の文書は、全国に及ぶ内乱期に、南北両朝が戦力確保のため各地に分立していた武士層を糾合しようとする状況と、その対象とされた武士層の動向を伺い知ることができる注目すべき一群と言えよう。一方、後者は、佐藤氏に対し一志・多気郡内で所領を認める北畠満雅・教具の御教書をはじめ、戦国時代末期までの多数の歴代奉行人奉書がある。これらから、内乱後、北朝方に属していた佐藤氏が北畠氏家臣となり、幕府方等との合戦に参加し活躍する状況が伺える。数少ない伊勢国司家北畠氏関係の伝存史料であると共に、家臣団の動向を知り得る文書群として貴重である。

三重県下で最も充実した内容、数量を有する中世武家史料であり、南北朝期から戦国時代末期までの文書群が一貫して伝来した唯一のものである。このため、南北朝内乱期における南北両朝、並

びにこれに呼応する武士団の動向を伺い知ることができ、また、稀少な北畠氏関係史料の中でかなりまとまった文書群として、三重県の中世史を研究する上で欠くことのできない貴重な史料と言えよう。史料内容、伝来の上でも、県指定文化財に十分価するものである。

- ・種別 有形文化財（考古資料）  
名称 鳥居古墳出土押出仏・埴仏  
員数 押出仏10点および押出仏・蝶番金具・鋌断片77点、埴仏1点  
時代 白鳳～奈良時代  
所在地 津市広明町147-2（三重県立博物館）  
所有者 三重県（管理 三重県立博物館）  
告示 三重県教育委員会告示第7号  
指定日 平成14年3月18日  
指定番号 考18  
概要 津市鳥居町にあった鳥居古墳は昭和38年に露出していた横穴式石室・石棺の崩壊のおそれがあったため、三重県立博物館によって発掘調査が行われ、その際に土師器・須恵器・瓦などとともに押出仏・埴仏が出土した。その後腐食やいたみが進んだため、昭和48年に東京国立文化財研究所保存科学部により修復と保存処理が行われた。
- 押出仏はいずれも銅板を打ち出して鍍金したもので、破砕しており、完存するものはないが、意匠のうかがわれるものが10点ある。そのうち最も保存状態の良好な一光三尊像（高30.1cm、幅22.0cm）は最も保存状態がよく、鍍金の光沢もよく残る。東京国立博物館蔵法隆寺献納押出仏や唐招提寺蔵如来立像などと同一原型とされ、他にもこれらと同様に同型関係にある菩薩立像が出土している。また、菩薩立像の1点は奈良県飛鳥池遺跡出土の土製型と一致するとされ、これら押出仏が畿内中央の仏教文化と密接な関係にあった事がうかがわれ、様式的には7世紀後半から白鳳期にかけてのものとみられる。また、粘土を雌型に当てて型をとる埴仏吉祥天立像（高20.7cm、幅11.7cm）は天平様式のものである。
- これら鳥居古墳出土の押出仏・埴仏は7世紀後半以降の当地の仏教文化の受容を知る上で貴重な資料であるとともに、古墳の石室内からの出土という点でも全国的に希有な例といえ、県指定文化財にふさわしいものであるといえる。

- ・種別 有形文化財（考古資料）  
名称 御墓山窯跡出土宮殿形陶製品  
員数 1基  
時代 飛鳥時代  
所在地 上野市丸之内116-2（上野市歴史民俗資料館）  
所有者 上野市教育委員会  
告示 三重県教育委員会告示第7号  
指定日 平成14年3月18日  
指定番号 考19  
概要 本品は、伊賀盆地の北東部にあたる上野市佐那具の御墓山窯跡4基の窯跡のうち、3号窯跡灰原から出土したもので、出土時点では破砕した状況だったが、ほぼすべての部位の破片が揃っており、全体が復元されている。
- 高さ90cm、基底部最大幅（復元）46.6cm、奥行39cm、軒の最大幅61.6cm、軒の奥行62cmである。全体が一体で成形されている。基底部には基壇を表現する突帯がめぐるとともに、内部に床は作り付けられていない。正面に縦23cm、横19cm程の入り口が設けられ、その周囲にも突帯が巡らされるとともに、左端には上下一対の穿孔があり、片開きの扉が装着できるようになっている。屋根は入母屋に作り、大きく張り出した棟の上に鴟尾が乗る。また屋根の四隅には、風鐸等の細工を施したとみられる穿孔がそれぞれみられるとともに、屋根から壁にかけて粘土板をへら状工具で3ヶ所半円状に切り取った

斗拱の表現がなされる。屋根には瓦の表現は無く、軒の垂木や肘木、その他の柱の表現も省略されている。破風の部分は三角形に切り抜かれているとみられ、屋根の形状は全体的に曲線的で、大棟・降棟・隅棟の明確な表現もみられない。棟桁は大きく外へ張り出している。また、屋根の背面には大きな剥離痕が2ヶ所みられ、何らかの装飾が施されていた可能性がある。本品は、寺院等の実際の建築を模したというよりは、小型仏像や経典を納めた厨子的な性格のものを当初から模していたと考えられ、棟をつくる厨子を示す「宮殿」を用いて「宮殿形陶製品」の名称を採った。

このように本品は7世紀後半のものとしては全国的にも類例がなく、極めて特異な形状のものであり、7世紀後半の当地域の仏教の受容を知る上で貴重な資料といえ、県指定文化財の価値は充分にある。

- ・種別 有形文化財（考古資料）
- 名称 鹿角装大刀
- 員数 1口
- 時代 古墳時代前期
- 所在地 志摩郡志摩町御座630（御座小学校）
- 所有者 志摩町教育委員会
- 告示 三重県教育委員会告示第7号
- 指定日 平成14年3月18日
- 指定番号 考20

概要

本品は昭和32年に開始された防潮堤構築工事の際に出土したもので、かつては多量の土器や人骨を伴っていたといわれるが、これらは全て散逸している。

本品は刀身の鋒部分が欠損しており、残長29.2cm、最大幅で9.9cmである。把頭と鞘尾装具が欠失しているが、かつては鋒も残っていたといわれ、本来はほぼ完存していた可能性がある。現在残存しているのは鞘口装具・把縁装具とそれに装着される把縁突起である。把縁の基部側は大部分が欠損しているが、鞘口装具は良好に遺存している。この鞘口の刀身側は幅1cm前後の段を残し、木質とみられる鞘を受けるようになっている。この鞘口装具は最大幅6.7cm、残厚3.6cmあり、その表面に幅1.5cm程度の直弧文帯を刻む。把縁基部の刀身の棟側には基部に直立する幅約1.4cmの角柱状の突起があり、その上にホゾ穴を穿った長さ4.5cmの円筒状の把縁突起を装着する。この把縁突起の上下面にも直弧文が刻まれ、把縁基部にも直弧文の痕跡がある。これら鹿角装部には朱彩が施されていた痕跡が残る。

本品は県内では唯一、精巧な直弧文を刻む鹿角装大刀であり、工芸的にも優れたものである。また、欠損部分はあるものの、残存部位は保存状態も極めて良好で、文様意匠に示されるように古墳時代前期における畿内中央部と志摩半島との直接的な関連を示す資料としても高く評価されるものであり、県指定文化財とするのは妥当と考えられる。

- ・種別 無形民俗文化財
- 名称 猪名部神社上げ馬神事
- 所在地 員弁郡東員町大字北大社797
- 保持団体 東員町流鏝馬保存会
- 告示 三重県教育委員会告示第8号
- 指定日 平成14年3月18日
- 指定番号 無民37

概要

現在、4月第1土曜・日曜に開催される上げ馬神事は、鎌倉時代、建久3年（1192）、員弁郡司の員弁三郎行綱が東員町大木に居城していた時、青年の士気を鼓舞するために流鏝馬神事をしたことに始まると伝えら、南北朝時代に廃絶したが江戸時代末期に再興し、さらに明治6年（1873）復興され、今日まで伝承されているという。上げ馬神事は、本来神の乗る馬を奉納するものであったが、いつの頃からか坂を駆け上がる形となり、稲作の吉凶を占う（早稲、中稲、晩稲）ようになっ



たと伝えられている。

当祭礼は、猪名部神社の氏子区域の2地区と、氏子区域外の2地区、計4地区より「乗り子（ノリコ）」と呼ばれる騎手を選出して行われる。祭礼の中心組織は、乗り子を選出しそれを支援する青年団（中卒～23歳、支部長、幹部）と、青年団を終えた中老（24歳～青年団の次の年齢集団、消防団）が深く関わっており、年齢階梯的な社会組織の中で、それぞれの役割分担の機能をみることができる。

上げ馬神事は、一時中断の時期はあったが、現代でも地区の青年・中老・保存団体を中心とした年齢階梯的な社会組織を維持し地域住民の関心も極めて高く、乗り子の役割、当屋祭祀の一形態、齋戒の観念も堅持されている。

他にその例が少なく、多度大社の上げ馬神事と猪名部神社の上げ馬神事、双方の行事を照合することによって、当該地域に於ける上げ馬神事の文化を明らかに出来る貴重な民俗文化財ということができ「県指定無形民俗文化財」に価する。

## 5 三重県指定文化財の追加指定及び名称変更

・種 別 有形文化財（工芸品）

（変更前）

名 称 鉄製宝篋印塔

（変更後）

名 称 鉄製宝篋印塔

附 納入品 一括 13件

銅製経筒（外容器）	1口	金銅板（壹）	1枚
金銅板（貳）	1枚	金銅板（参）	1枚
金銅板（四）	1枚	金銅板	1枚
銅製経筒（内容器）	1口	白銅御正体（大日如来種子）鏡	1面
金銅帯板	1枚	鑄銅製如来形坐像	1軀
仏舍利	1包4粒	環状銅製品	1点
経石	18点		

員 数 1基

時 代 江戸時代（宝永3年（1706）～享保二年（1717））

所 在 地 飯南郡飯南町大字向粥見字本郷

所 有 者 醫王寺（代表役員 林 道明）

告 示 三重県教育委員会告示第9号

追加指定日 平成14年3月18日

指 定 番 号 工62

概 要 飯南町醫王寺の鉄製宝篋印塔（三重県指定有形文化財（工芸品）平成11年10月7日指定）の保存修理補助事業による解体作業中に、塔基台内部から発見されたものである。

納入品には、銅製経筒外容器（1口）、金銅板（5枚）、銅製経筒内容器（1口）、白銅御正体（大日如来種子）鏡（1面）、金銅帯板（1枚）、鑄銅製如来形坐像（1軀）、仏舍利（1包4粒）、環状銅製品（1点）、および経石（18点）がある。このうち、銅製経筒内容器には、白銅御正体（大日如来種子）鏡、金銅帯板、鑄銅製如来形坐像、仏舍利、環状銅製品が納入され、さらにこの内容器と金銅板5枚が、銅製経筒外容器に納入されていた。なお、経石は宝篋印塔基台下の石組台座の内部に埋納されていたものである。

金銅板・金銅帯板の銘文から、まず、宝永三年（1706）の鉄製宝篋印塔造立に際して、浄廓光円を願主とし16名の助縁者により、摂津大坂の7ヶ所の墓所等の結縁がなされ、銅製経筒内容器が納められ、その後、さらに浄廓光円を願主として結縁がすすみ、京都洛中外の多数の寺院や下総・長門国の寺院の過去帳を集めて結縁がなされ、享保二年（1717）に銅製経筒外容器にすべてを納めて、納入されたことが知られる。

鉄製宝篋印塔内納品の全容を示す好資料であり、刻銘・墨書銘から、宝篋印塔造立の由来をはじめ、塔造立に際して大坂京都等遠隔地からの結縁による当時の広範な宗教活動をうかがい知ることができ、たいへん興味深い資料である。

## 6 記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財の選択

- 種別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
- 名称 一ノ井の松明調進行事
- 所在地 名張市赤目町一ノ井
- 伝承者 伊賀一ノ井松明講
- 選択日 平成14年2月18日
- 概要

お水取りの名で知られる東大寺二月堂の修二会で使用する松明を調製し、これを3月12日に東大寺に奉納する行事である。行事は松明の製作、松明調進法要、および松明送りからなり、一ノ井の三小場（下垣内、堂の前、上の畑）の従来からの住民で構成する松明講によって執行される。当年の行事に当たるのは、松明衆五人、香水衆二人の年番七人で、講長と極楽寺住職がこれに加わる。

松明の製作は2月10日ころに行われる。伐採するのは直径20cmぐらいの檜1本で、直ちに極楽寺に運んでその日の内に松明に作られる。松明の形やくくり方には古来の規格があり、計20束を拵え、仕上がった松明はそのまま極楽寺本堂に納められる。

1ヶ月後の3月10日に松明調進法要が行われ、法要後に道観塚への調進練行となる。3月12日に松明送りとなり、松明送りの一行は、講長・住僧・松明衆・香水衆で、参詣者が随伴する。東大寺に向かい、本坊に松明を奉納。二月堂主管がこれを受け取り報告法要が行われて調進行事のすべてが終わる。

当行事は、東大寺二月堂の修二会に用いられる松明を調進する行事であり、行事の主体は松明の製作であるが、製作技法などには教習を必要とする特別な技法はなく、また、それにかかわる講の組織や習俗についても特記すべきものはない。修二会という法会の一部を構成する伝承であるため、その評価は東大寺二月堂修二会として行うべきものであり、記録保存を目的とした記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択するのが妥当である。

- 種別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
- 名称 松尾町の額取
- 所在地 鳥羽市松尾町
- 伝承者 松尾町内会
- 選択日 平成14年2月18日
- 概要

かつて加茂五郷に、擬制的親子関係（親取り子取り）という習俗が濃厚であったことが指摘されている。しかし、この習俗も消滅し、松尾町だけが現在も堅く守り維持している。

松尾町には「松尾町公会規定」があり、「公会（クガイ）」は規定に基づき町民と認められた者の集団で地下総会で承認された区民で年齢階層的に寄老会・中老・若者の同輩集団によって構成される慣行である。

フタエドリ（額取）の名称は、元服の儀式に由来するという。フタエドリはヒタイトリと理解される。広辞苑には「ヒタイアワセノイトコ」が出ているが「親族としての関係を結ぶ」という意味で「ヒタイトリ」が、フィタイ＝フィタエ＝フタエに変化したものと考えられる。起源は明らかではないが、松尾寄老会の文書「大福帳」に「文久三年（1863）覚 額取ふる舞之節」などがみられる。フタエドリは血縁とは関係なく親（エボシオヤ）子関係、兄弟（エボシゴ）関係を結び親戚同様の親密な交わりを結び、エボシゴの重要な任務はエボシオヤの死におけるツカイとヤシキドリ（墓穴掘）である。日常生活では労力の提供、経済的援助、相互扶助が生涯維持されている。

儀式は11月下旬の吉日に行われ、16歳になった男子が、出生順に五人を兄、それに次ぐ五人を弟とする兄弟五組に分けられ、親（40歳代妻帯者）は公会の構成員で年齢順に五人で、親一人、子二人の親子・兄弟関係の縁を結ぶ。この関係は特別な場合以外変更されない。

松尾町の額取は、上記の如く厳しい諸儀礼を維持し、擬制的親子関係・兄弟関係の原形を保持している。額取の慣習は次世代に引き継ぎ敬老友愛の精神を育成する重要な役割を維持している。

しかし、平成14年度はオヤとコの人数がそろわず儀式は平成15年度に実施される予定で、若者の他出、少子化現象が当該習俗に及ぼす影響は少なくなく、記録保存を目的とした記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択するのが妥当である。

## 7 三重県指定文化財の一部解除及び解除

- ・種 別 有形文化財（書跡）  
名 称 本居宣長関係資料  
員 数 73種163点のうち、53種132点  
時 代 江戸時代  
所 在 地 松阪市殿町1536-7（本居宣長記念館）  
所 有 者 松阪市（管理者 鈴屋遺蹟保存会）  
公 報 三重県教育委員会告示第28号  
解 除 日 平成13年6月3日  
理 由 国重要文化財の追加指定（平成13年6月22日文部科学省告示第110号）による一部解除
  
- ・種 別 無形民俗文化財  
名 称 上野天神祭  
所 在 地 上野市  
保 持 団 体 上野美術保存会  
公 報 三重県教育委員会告示第36号  
解 除 日 平成14年2月12日  
理 由 国重要無形民俗文化財の指定（平成14年2月12日文部科学省告示第13号）による解除

8 市町村指定文化財の指定・解除

(指 定)

市町村名	種 別	名 称	員数	所 在 地	所有者管理者	指 定 日
名 張 市	有形（彫刻）	上比奈知国津神社境内二尊石仏	1 基	名張市上比奈知81	国津神社	H13. 5. 17
	有形（彫刻）	蓮福寺二尊石仏	1 基	名張市神屋2658	蓮福寺総代	H13. 5. 17
	有形（彫刻）	上比奈知墓地石仏	1 基	名張市上比奈知1078	上比奈知区	H13. 5. 17
	有形（彫刻）	法然寺木造阿弥陀如来立像	1 軀	名張市本町204	栄林寺	H13. 5. 17
四日市市	有形（彫刻）	釈迦如来坐像	1 軀	四日市市貝塚町47	上品寺	H14. 1. 31
	有形民俗	四日市蕉風連中奉納歌仙額	1 面	四日市市垂坂町1266	観音寺	H13. 7. 19
安 濃 町	有形（絵画）	観心十界曼陀羅図	1 幅	安芸郡安濃町大字太田1810	西念寺	H13. 9. 7
	史跡	岡南4号墳	1 基	安芸郡安濃町大字川西200-1	中山隆夫	H14. 2. 8
東 員 町	無形民俗	東員町流鏝馬・上げ馬神事	—	員弁郡東員町大字北大社797	東員町流鏝馬保存会	H13. 11. 23
多 度 町	有形民俗	徳蓮寺絵馬	252点	桑名郡多度町下野代3171	徳蓮寺	H13. 12. 3
飯 南 町	有形（古文書）	蒲生氏郷下知状	2 点	飯南郡飯南町横野848	飯南町教育委員会	H14. 1. 29

(解 除)

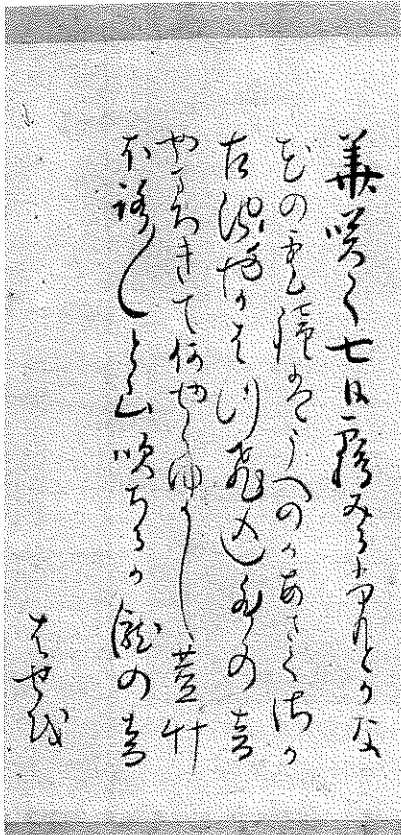
市町村名	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有管理者	解 除 日	理 由
亀 山 市	有形（彫刻）	木造観音菩薩坐像・勢至菩薩立像	2 軀	亀山市西町524	遍照寺	H13. 1. 25	県指定



銅造阿弥陀如来立像（津市：潮音寺）



銅造阿弥陀如来立像（鈴鹿市：光勝寺）



松尾芭蕉関係資料 華咲きて等 五句発句切 (上野市)



木造観音菩薩坐像 (亀山市)



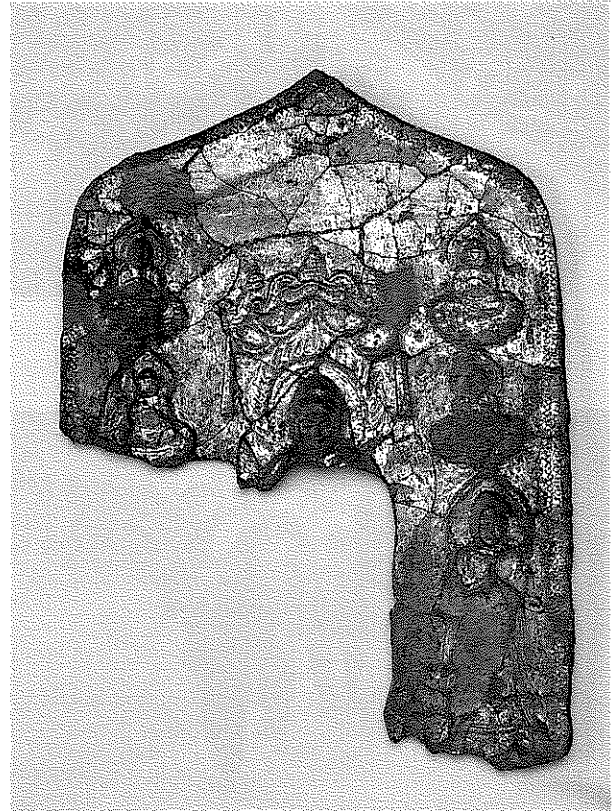
木造勢至菩薩立像 (亀山市)



奥知勇収集古伊賀・古信楽器物類一括伊賀茶碗 (上野市)



紙本墨書佐藤文書 北畠教具御教書 (津市)



鳥居古墳出土押出仏・埴仏 一光三尊像 (津市)



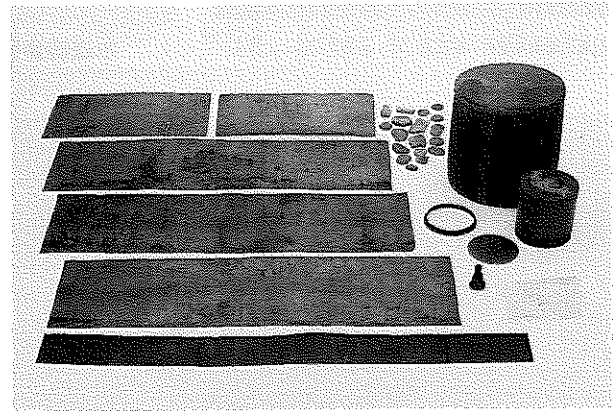
御墓山窯跡出土宮殿形陶製品（上野市）



鹿角装大刀（志摩町）



猪名部神社上げ馬神事（東員町）



鉄製宝篋印塔 附納入品一括（飯南町）



一ノ井の松明調進行事（名張市）



松尾町の額取（鳥羽市）

## Ⅱ 文化財の調査事業

### 1 特別天然記念物カモシカ（S30.2.15指定）調査〔国庫2／3補助・三重県 5,700千円〕

#### (1) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

##### ① 調査目的

特別天然記念物カモシカは、三重県内において昭和58年9月に鈴鹿山地の保護地域が設定され、平成元年7月に紀伊山地の保護地域も設定された。カモシカの永続的な保存のために絶えず現状を把握し、適切な保護措置をとるとともに、基本的なデータを蓄積して、5年に1度実施される特別調査を補完するものである。

##### ② 調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査指導 富田 靖男（財三重県環境保全事業団 特別研究員）

武田 明正（三重大学生物資源学部教授）

松原準之助（三重県森林組合連合会前会長）

現地調査 三重県文化財調査委員

伊藤 勝義・岸本 英徳（藤原町）

小森 良一・出口 幸雄（北勢町）

山下 久雄・岩花 正己（大安町）

満田 学・山野 直也（菟野町）

市川 正人・山脇 和也（四日市市）

江藤 暁・新開 孝一（鈴鹿市）

##### ③ 鈴鹿山地カモシカ保護連絡会議

期 日 平成13年9月29日（土）

場 所 三重県環境学習情報センター

出席者 松原準之助（指導委員）

伊藤 勝義・小森 良一・出口 幸雄・山下 久雄・満田 学・山野 直也・山脇 和也・江藤 暁・新開 孝一（カモシカパトロール員）

大安町教育委員会・鈴鹿市教育委員会

北勢教育事務所・県教育委員会スポーツ・生涯学習課文化財保護室

#### (2) 紀伊山地カモシカ保護地域特別調査（平成12・13年度継続事業）

##### ① 調査の目的

文化庁のカモシカ保護管理マニュアルに従い、カモシカの個体群と生息環境の状況を定期的かつ統一的に把握し、紀伊山地カモシカ保護地域の保存管理のための基礎資料を得ることを目的とする。補足調査として、へい死個体のDNA分析による遺伝的多様性調査及び糞分析による食性調査を実施する。また、紀伊山地カモシカ保護地域における特別調査は奈良県教育委員会及び和歌山県教育委員会と合同で実施する。

##### ② 調査対象地域

紀伊山地カモシカ保護地域及びその周辺

##### ③ 調査内容

###### I 生息状況調査

分布調査（アンケート）、生息密度調査

###### II 生息環境調査

森林概況調査、生息密度調査地の林相図作成、食性調査（糞分析法）、林業等土地利用状況調査、既存資料調査、食害状況調査

###### III ニホンジカの生息状況の調査（カモシカとの関係の把握）

既存資料調査・アンケート調査及び現地調査等におけるニホンジカのデータの同時収集。

###### IV 個体群動向に関する資料の蓄積

死亡個体の収集と分析（DNA分析による遺伝的多様性調査を含む）

##### ④ 調査体制

調査主体 三重県教育委員会（奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会と合同で実施）

指導委員 富田 靖男（勸三重県環境保全事業団特別研究員）  
武田 明正（三重大学生物資源学部教授）  
松原準之助（三重県森林組合連合会前会長）

調査委託先 勸自然環境研究センター

⑤ 紀伊山地カモシカ特別調査指導委員会

第1回

期 日 平成13年9月20日（木）  
場 所 和歌山県本宮町 役場会議室  
出席者 富田 靖男・松原準之助（三重県指導委員）  
菅沼 孝之・北村又左衛門（奈良県指導委員）  
細田 徹治・松本 健（和歌山県指導委員）  
三重県教育委員会、和歌山県教育委員会、奈良県教育委員会、本宮町教育委員会、  
自然環境研究センター

第2回

期 日 平成13年12月17日（月）  
場 所 多気郡宮川村 宮川林業総合センター  
出席者 富田 靖男・松原準之助・武田 明正（三重県指導委員）  
御勢久右衛門・菅沼 孝之・北村又左衛門（奈良県指導委員）  
細田 徹治・土永 知子（和歌山県指導委員）  
三重県教育委員会、和歌山県教育委員会、奈良県教育委員会、宮川村教育委員会、  
自然環境研究センター

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

- ① 目 的 特別天然記念物カモシカ保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の構成と動向、食害状況等についての情報交換を行うとともに、今後の保護管理施策、食害対策等について協議する。
- ② 主 催 文化庁・宮崎県教育委員会
- ③ 期 日 平成13年10月23日（火）～24日（水）
- ④ 会 場 宮崎県東諸郡綾町 綾川荘
- ⑤ 出席者 武田 明正・富田 靖男（三重県指導委員） 村岡 一幸（文化財保護室）が三重県から出席

2 天然記念物ネコギギ緊急調査（平成13・14年度継続事業）〔国庫1／2補助・三重県 3,000千円〕

① 調査の趣旨

三重県内のネコギギは特に北勢・中勢地域の河川において個体数が急激に減少し、地域個体群の存続が危ぶまれている状況にある。また、比較的、良好な状態で個体群が維持されている南勢地域の水系においても、河川改修や周辺環境の改変等、生息環境の悪化による個体数の減少が心配されている。そこで、県内のネコギギの生息状況及び生息環境の把握と保存対策の立案を目的として緊急調査を実施する。

② 事業主体 三重県教育委員会

③ 調査対象地域 員弁川水系、鈴鹿川水系、櫛田川水系、宮川水系 他

④ 調査内容

・アンケート調査

ネコギギの生息状況及び河川環境についてアンケートを実施。実施範囲：北勢・中勢・南勢地域

・生息分布調査

三重県内のネコギギが生息していると思われる水系を対象とし、夜間潜水目視調査等により生息状況を調査。生息分布調査を実施した河川のうち、必要に応じ生息環境調査や生態調査を実施。

⑤ 調査体制

・事務局 文化財保護室

・調査は三重県科学技術振興センター 水産研究部鈴鹿水産研究室で実施。



・天然記念物ネコギギ緊急調査指導委員会を設置し、調査方法や結果のとりまとめ等について助言を得る。

⑥ 調査指導委員

名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）

森 誠一（岐阜経済大学 助教授）

原田泰志（三重大学生物資源学部 助教授）

渡辺勝敏（奈良女子大学理学部 助教授）

⑦ 調査指導委員会

第1回 指導委員会 平成13年6月15日（金）鈴鹿水産研究室 会議室

第2回 指導委員会 平成14年1月18日（金）鈴鹿水産研究室 会議室

⑧ 調査期間

平成13年5月10日～平成14年3月29日

### 3 天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針策定事業〔三重県 1,150千円〕

① 事業の趣旨

オオサンショウウオは特別天然記念物として貴重であるだけでなく、生態系における食物連鎖の上位に位置する動物であり、生態系保全の象徴としても重要である。オオサンショウウオが生息する河川においては、その餌生物である魚類や甲殻類、水生昆虫類等が豊富であり、それら餌生物の餌となる動植物も豊富である、すなわち、複雑な食物連鎖をもつ豊かな生態系が維持されていると考えられる。しかし、近年、大規模開発や社会資本整備促進の中で、オオサンショウウオが身を潜める間隙や、繁殖巣穴適地の減少、ダムや堰堤などの障害物による移動・交流の妨げ、生活排水や農薬等有害物質の流入による河川水の汚濁・汚染など、生息環境の悪化が顕著となってきている。各種開発事業の実施にあたっては、計画段階からオオサンショウウオの保護策を十分に検討し、悪影響を最小限にとどめる工夫が必要である。そこで、三重県教育委員会では平成11・12年度の緊急調査結果をもとにオオサンショウウオの保護管理指針を策定するものである。

② 事業主体 三重県教育委員会

③ 事業内容

・保護管理指針策定

平成11・12年度の緊急調査結果および追加現地調査をもとにオオサンショウウオの保護管理指針を策定。

・追加現地調査

平成11・12年度の調査で生息データ不足している箇所を追加調査する。

④ 事業体制

・事務局 文化財保護室

・特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針策定指導委員会を設置し、指針の策定について助言を得る。

⑤ 指針策定指導委員

松井正文（京都大学大学院人間・環境学研究科 助教授）

富田靖男（財団法人三重県環境保全事業団 特別研究員）

武田明正（三重大学生物資源学部 教授）

松月茂明（日本サンショウウオセンター 所長）

清水善吉（三重県立松阪高等学校 教諭）

⑥ 指針策定指導委員会

第1回 指導委員会 平成13年9月26日（木）青山町公民館 中ホール

第2回 指導委員会 平成13年12月13日（木）三重県立松阪高等学校 校長室

⑦ 事業期間

平成13年9月20日～平成14年3月29日

#### 4 近世亀山藩関係史料 史料調査〔国庫1/2・県1/10補助 亀山市 3,600千円〕

##### ① 調査趣旨

亀山城主石川家の家老であった加藤家は、幕末の頃、大別3家に分かれた。この3家に伝存する古文書、歴史資料等を中心に近世亀山藩の藩政史料を調査し、近世亀山地域の歴史及び文化を明らかにする。

##### ② 調査組織

###### 〔調査委員〕

谷口 昭 (名城大学法学部教授)  
藤田 和男 (亀山市文化財専門委員会委員長)  
前田 一郎 (花園大学講師)  
中沢 巷一 (鈴鹿国際大学教授)

###### 〔調査員〕

山中 雅子 (多度町史編さん調査員)  
鈴木えりも (三重県史編さん委員)  
沢山 孝子 (三重県史編さん委員)  
磯部 宏子 (近江八幡市調査補助員)  
加崎 千恵 (皇學館大学臨時事務補助員)

##### ③ 事業概要

平成12～14年度の3ヶ年事業でOA機器を活用した調査を行う。平成13年度は約6,350点の史料の入力を行い、昨年度からの入力点数は10,000点を越えた。当事業の中間報告として、博物館事業の中で「亀山城主石川家家老加藤家一系図・由緒書から探る」展を開催し、当調査の基本情報となる加藤家の構成を明らかにするとともに、加藤家の画期となる人物等を展示紹介した。

#### 5 桑名松平伝来資料 史料調査〔国庫1/2・県1/10補助 桑名市 3,000千円〕

##### ① 調査趣旨

桑名城跡に所在する鎮国守国神社宝物館には桑名松平家関係はじめ多様な資料が保存されている。この桑名松平伝来の歴史資料を調査して全容を明らかにし、市史編纂など将来の保存活用に資する。

##### ② 調査組織

###### 〔調査委員〕

岡田 照子 (岐阜女子大学名誉教授)  
西羽 晃 (桑名市文化財保護審議会委員)  
高倉 一紀 (皇學館大学助教授)  
嵯峨井和風 (鎮国守国神社宮司)

小川 通夫 (桑名市文化財保護審議会委員)  
上野 秀治 (皇學館大学教授)  
塚本 明 (三重大学助教授)  
小山 誠 (鎮国守国神社総代)

###### 〔調査員〕

岡田 照子 (岐阜女子大学名誉教授)  
岡嶋偉久子 (天理大学付属天理図書館司書)  
齋藤 平 (皇學館大学講師)  
高倉 一紀 (皇學館大学助教授)  
牟禮 仁 (皇學館大学神道研究所助教授)

上野 秀治 (皇學館大学教授)  
岡田 芳幸 (皇學館大学神道博物館学芸員)  
櫻井 治男 (皇學館大学教授)  
塚本 明 (三重大学助教授)

###### 〔調査協力員〕

浅井亜矢子、廣瀬 久志、尾藤あやえ、盛山 隆行、中川 豊、中條 敦仁、速水 香織、松下 洋子、石川 匡伸、松井 秀宗

##### ③ 事業概要

平成13～15年度の3ヶ年事業として調査を行う。対象とする資料は系図、書籍、絵画、書跡、古文書、器物、武器など多岐にわたる。平成13年度は各種の資料の調査をすすめ、松平家からの寄贈資料の仮目録をまとめた。

#### 6 町内遺跡詳細分布調査

##### (1) 芸濃町 町内遺跡発掘調査等〔国庫1/2・県費1/6補助・芸濃町 334千円〕

平成11年度から3ヶ年度の計画で実施。平成13年度は最終年度で、これまでの実地調査成果の整理と、町内埋蔵文化財の詳細分布地図を作成した。

##### (2) 安濃町 町内遺跡発掘調査等〔国庫1/2・県費1/6補助・安濃町 640千円〕

今年度から平成15年度まで3ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査。

##### (3) 白山町 町内遺跡発掘調査等〔国庫1/2・県費1/6補助・白山町 667千円〕

今年度から平成15年度まで3ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査。

- (4) 朝日町 町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助・朝日町 692千円]

今年度から平成14年度まで2ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査。

## 7 埋蔵文化財緊急発掘調査

- (1) 国史跡斎宮跡緊急発掘調査 [国庫1/2補助事業・三重県 15,569千円]

国史跡斎宮跡解明のために2地区1,660㎡の計画調査を実施するとともに斎宮跡発掘調査報告書I図版編を刊行した。また、これまでの調査成果を管理する、斎宮跡調査管理システムを開発した。

次数	地区	面積㎡	期間	主要遺構・遺物
132	中垣内地区	750	5/8～8/31	方形周溝墓・土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗
134	西加座地区	910	8/1～10/31	掘立柱建物・井戸・土坑・区画溝 土師器・須恵器・灰釉陶器・黒色土器・ ロクロ土師器・石製丸軋・鉄製鎌

- (2) 県営ほ場整備事業等発掘調査

[農林水産商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費142,860千円うち農家負担分16,986千円]

国庫1/2補助事業 三重県 8,493千円]

事業名	遺跡名	所在地	面積㎡	調査費(千円)	調査期間
県営ほ場整備事業	八重垣神社遺跡	鈴鹿市十宮町	1,150	29,540	11/8～2/28
	金森遺跡他	亀山市三寺町	600	13,600	1/10～3/14
	替田遺跡他	津市野田	920	18,000	9/13～2/15
	川島遺跡他	松阪市川島町	4,100	34,400	7/2～3/4
	琵琶垣内遺跡他	松阪市山添町	2,130	23,120	10/15～2/27
	神田遺跡	多気郡勢和村片野	450	4,200	8/1～8/15
	野添遺跡他	阿山郡伊賀町野村	1,100	20,000	11/7～12/28
計			10,450	14,860	

- (3) 市町村遺跡発掘調査

- ・大矢知山畑遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 四日市市 2,226千円]

遺跡名	所在地	内容
大矢知山畑遺跡	大矢知町内	報告書作成

- ・長者屋敷遺跡ほか発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 鈴鹿市 4,000千円]

伊勢国府の所在が明らかとなり、一部国史跡に指定された長者屋敷遺跡のほか、市内の重要遺跡の範囲確認などのための基礎データを収集し、将来の保存管理計画の基礎資料を得た。

(長者屋敷遺跡)

地区名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
6AHD-AB区	広瀬町字中起	実態解明の学術調査	H13.4.1～ H14.3.31	960	政庁北方の区画施設 瓦葺礎石建物の基段 瓦類・土師器・須恵器ほか
6AHD-C区	広瀬町字中起				
6AHD-D区	広瀬町字中起				
6AEB-AB区	広瀬町字中土居				
計				960	

## (範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
竹野一丁目遺跡	竹野一丁目20-8	個人住宅	H13.4.20	12	遺構・遺物なし
起C遺跡	安塚町字安塚1629-2	個人住宅兼店舗	H13.5.9	4	溝
金沢川遺跡	岸岡町字五ノ坪3237	農業用倉庫	H13.5.9	2	遺構・遺物なし
境塚遺跡	伊船町字北ノ割、東境塚	工業団地造成	H13.5.17	195	地境溝
国分遺跡	国分町1348	個人住宅	H13.5.29	14	ピット・土坑
石薬師東遺跡	石薬師町字寺東452-49	個人住宅	H13.6.8	16	ピット・周溝
須賀遺跡	須賀一丁目1718-1	個人住宅	H13.6.18	11	遺構・遺物なし
津賀東部遺跡	高塚町字神垣184-11	個人住宅	H13.6.18	10	遺構・遺物なし
岩ヶ谷遺跡	平野町字岩ヶ谷1011	個人住宅	H13.6.25	8	須恵器・土師器
国分西遺跡	国分町262	個人住宅	H13.7.2	16	ピット・土坑/瓦類
原永遺跡	南若松町字石塚294-3外	個人住宅	H13.8.9	11	遺構・遺物なし
国分寺北遺跡	国分町字上新田519-7	土砂採取	H13.8.9	15	遺構・遺物なし
新池A遺跡	三宅町字羽根原359-2外	個人住宅	H13.9.5	13	遺構・遺物なし
国分遺跡	国分町字南條1366外	個人住宅	H13.9.11	5	遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡	広瀬町字荒子1001外	牧場造成	H13.9.13	20	遺構・遺物なし
中瀬古南遺跡	中瀬古町字西ノ口577-2	個人住宅兼事務所	H13.10.11	88	溝・柱穴
国分西遺跡	国分町字東高木160-3	個人住宅	H13.10.31	10	遺構・遺物なし
周知外	北玉垣町字愛宕縄27外	店舗駐車場造成	H13.11.5	4	遺構・遺物なし
石丸野遺跡	国府町字石丸7679-21	工場建設	H13.11.6	4	遺構・遺物なし
北若松遺跡	若松北三丁目307-10	個人住宅	H13.11.12	3	遺構・遺物なし
西ノ野遺跡	国府町字西ノ野15-10	個人住宅	H13.11.12	9	遺構・遺物なし
起A遺跡	飯野寺家町字起697	個人住宅	H13.11.27	9	遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡	広瀬町1282-1	土地改良	H14.1.5	1,131	溝・建物基段/瓦
国府B遺跡	国府町1098-4	工場建設	H14.1.8	10	遺構・遺物なし
天雷山遺跡	稲生二丁目3510外	集合住宅建設	H14.1.17	24	遺構・遺物なし
石薬師東遺跡	石薬師町字寺東452-48	個人住宅	H14.1.23	22	遺構・遺物なし
富士遺跡	国府町字富士2217-3外	個人住宅	H14.1.28	9	ピット
国分西遺跡	国分町字西浦259-1外	個人住宅	H14.1.28	15	ピット・溝・土坑/瓦類
山ノ原遺跡	上田町字割塚553-5	個人住宅	H14.2.12 ~2.14	14	溝・ピット/土師器・須恵器
神垣遺跡	高塚町字神垣1066	個人住宅	H14.2.12	14	溝・ピット/土師器・須恵器
天王遺跡	岸岡町字野口559外	集合住宅建設	H14.2.20	18	ピット
津賀東部遺跡	高塚町字神垣190-6	個人住宅	H14.3.8	10	遺構・遺物なし
計				1,736	

(本調査実施分)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
国分西遺跡	国分町262	個人住宅	H13. 7. 3 ～7. 4	16	中世廃棄土坑、 溝瓦類
中瀬古南遺跡	中瀬古町字西ノ口 577- 2	個人住宅兼事務所	H13. 10. 11 ～10. 19	88	溝・掘立柱建物
長者屋敷遺跡	広瀬町1282- 1	土壌改良	H14. 1. 6 ～1. 11	246	溝・建物外周溝
国分西遺跡	国分町字西浦259- 1 外	個人住宅	H14. 1. 15 ～1. 31	98	大型土坑・土坑・ 溝瓦類
計				448	

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)  
渡辺 寛 (皇學館大學教授)  
川越俊一 (奈良文化財研究所)  
高瀬要一 (奈良文化財研究所)  
大場範久 (神戸高等学校)

指導委員会議 平成14年1月8日(火)

・町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 嬉野町 1,500千円]

市街化の町中心部を中心に、重要遺跡の範囲確認を行い、埋蔵文化財保護の基礎的データを得た。

遺跡名	所在地	原因	期間	対応面積㎡	主要遺構・遺物
竜王野遺跡	須賀領488	宅地造成	H13. 6. 10～ H13. 6. 20	84	遺構・遺物なし
竜王野遺跡	須賀領477- 8	病院建築	H13. 6. 10～ H13. 6. 20	32	遺構・遺物なし
庵ノ門遺跡	川北庵ノ門1350	個人住宅	H13. 6. 20	16	遺構面に達せず
上野廃寺	下之庄1219	個人住宅	H13. 7. 10	24	遺構・遺物なし
上野廃寺	下之庄1220	個人住宅	H13. 8. 23	8	土坑・溝
筋違遺跡	小村渡川4- 1	店舗建築	H13. 8. 10	16	遺構・遺物なし
野田遺跡	野田字小杉23- 1	共同住宅建築	H13. 9. 3～ H13. 9. 28	92	溝・土坑・柱穴 須恵器・灰釉陶器
上野廃寺	下之庄1243	個人住宅	H13. 9. 23	16	溝・ピット
天白遺跡	釜生田1515	個人住宅	H14. 2. 8～ H14. 2. 10	32	中世集石遺構 土師器
小谷赤坂遺跡	天花寺字赤坂763- 7	個人住宅	H14. 2. 8～ H14. 2. 10	16	竪穴住居・土坑 弥生土器・石器
西山古墳	川北	里山づくり事業	H13. 11. 13～ H14. 1. 31	100	墳丘裾確認
計				436	

・村内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 美杉村 7,000千円]

多気地内の北畠氏関連遺跡の学術調査を行い、史跡指定にむけての基礎的データを収集した。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡 (六田館跡)	下多気六田	実態解明の学術調査	H13. 12. 8～ H14. 3. 31	340	館堀跡・ピット・ 礎群
計				340	

・御館・柳原遺跡ほか発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 明和町 5,000千円]

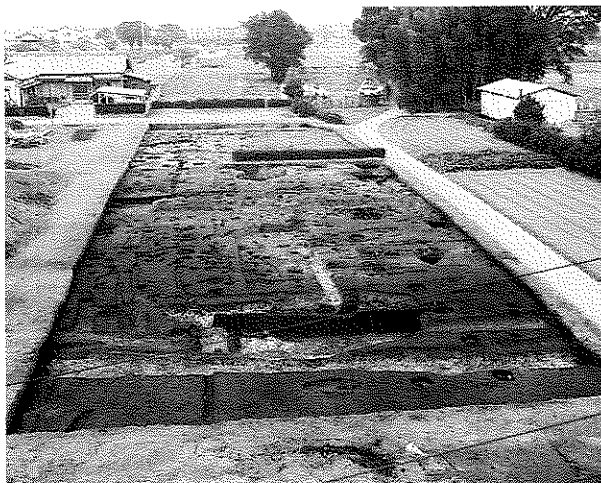
遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に地下遺構等の実態を把握することで、遺跡保護のデータを収集する。また、住宅密集地内での調査精度の維持のため測量4級基準点を20箇所新設し、過去竪穴住居の調査で採取した遺構埋土の珪酸体分析を行った。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
斎宮跡 第134-9次	斎宮字塚山3322-2	農地天地返し	H14. 2. 11~ H14. 3. 22	362	溝・土坑
計				362	

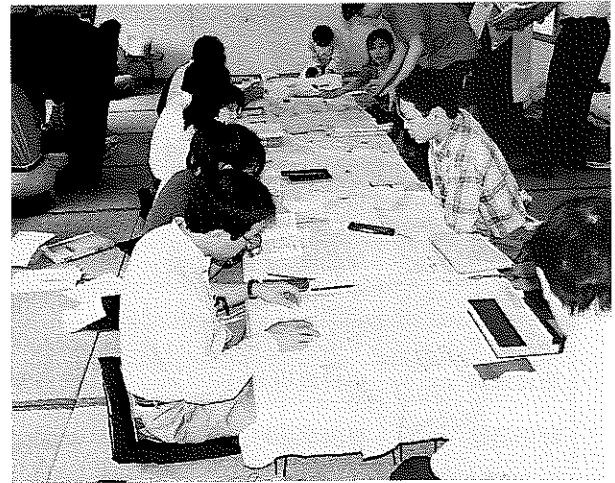
・市内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 久居市 18,229千円]

久居市戸木の上野遺跡をはじめ市内遺跡の範囲確認を行い、今後の文化財保護の基礎資料を得る。

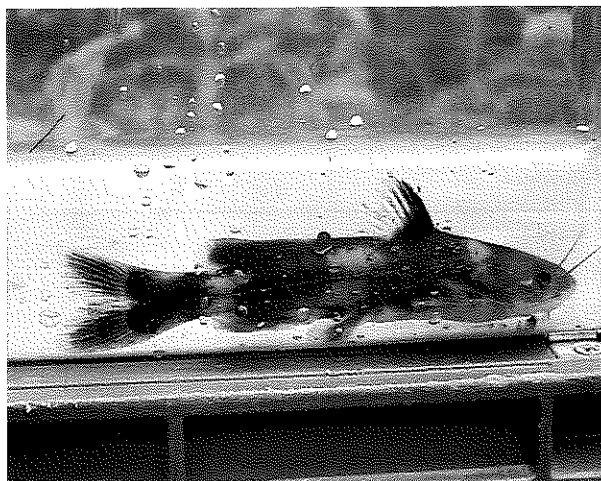
遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
上野遺跡	戸木町地内	遺跡の範囲確認調査	H13. 12. 17~ H14. 3. 25	5,500	竪穴住居・土坑・ 方形周溝墓・掘立 柱建物・火葬墓
計				5,500	



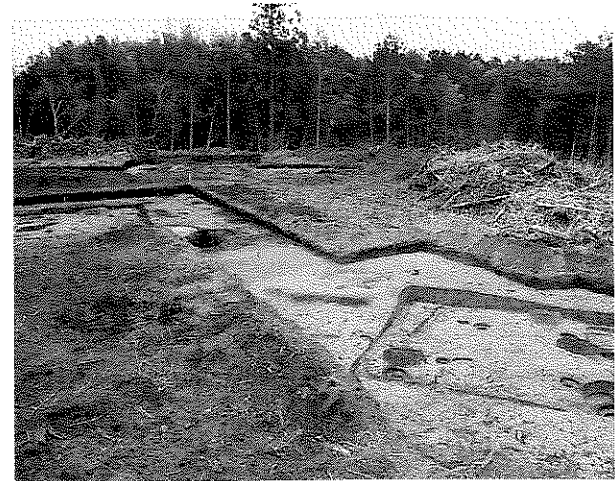
斎宮跡 第133次調査 (明和町)



桑名松平伝来資料史料調査 (桑名市)



天然記念物 ネコギギ



市内遺跡発掘調査 (久居市：上野遺跡)

### Ⅲ 文化財の保護事業

#### 1 県費補助事業（国庫補助事業上乗せ分）

##### (1) 建造物保存修理事業

専修寺御影堂（専修寺・津市）〔S36.6.7指定〕

事業概要 全体計画 平成11年度から19年度まで専修寺御影堂の半解体修理。

12年度事業費 12年度事業（解体工事・木工事・金具工事）は13年度に繰越

569,231千円（国65% 370,000千円、県10% 56,923千円）

（12～13年度施工）

13年度事業費 13年度事業（木工事・屋根工事）は14年度に繰越

46,154千円（国65% 30,000千円、県10% 4,615千円）

（13～14年度施工）

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社竹中工務店名古屋支社

指導委員

鈴木 嘉吉（前奈良国立文化財研究所長）

金野 潔（京都大学名誉教授）

菅原 洋一（三重大学助教授）

平松 令三（前龍谷大学教授）

指導委員会

平成13年6月14日、11月27日

##### (2) 建造物防災施設事業

大村神社宝殿（大村神社・青山町）〔T9.4.15指定〕

事業概要 加圧送水装置（動力消防ポンプ）の取り替え工事

事業費 3,843千円（国60% 2,305千円、県10% 384千円）

設計監理 榛原防災センター

##### (3) 伝統的建造物群保存事業

関町関宿重要伝統的建造物群保存地区・保存修理（関町）〔S59.12.10選定〕

事業概要 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区内において、建造物等の保存のため修理工事。

修理 7件（半解体修理 2件、部分修理 5件）

事業費 30,000千円（国50% 15,000千円、県10% 3,000千円）

設計監理 町教育委員会

工事請負 地元建築会社等

##### (4) 重要無形文化財保持団体補助事業

伊勢型紙（伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市）〔S30.2.15・平成5.4.15認定〕

事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。

普及啓発のため、日本の技と美などに作品を出品。

事業費 7,000千円（国定額（77%） 5,400千円、県10% 700千円）

##### (5) 民俗文化財調査事業

北勢鯨船行事（四日市市）〔H元.2.27選択〕〔H9.12.15指定（鳥出神社の鯨船行事）〕

事業概要 平成12～13年度において、全国的にも珍しい陸上の模擬捕鯨行事の学術調査。

北勢鯨船行事民俗調査団を組織し、多角的な調査の実施。

鯨船山車の実施調査 近藤和船研究所 実測製図を完了。

事業費 3,000千円（国 50% 1,500千円、県 10% 300千円）

北勢鯨船行事民俗調査団

調査指導員

神野 善治（武蔵野美術大学教授）  
近藤友一朗（近藤和船研究所所長）  
野村 史隆（海の博物館学芸員）  
鬼頭 秀明（民俗芸能研究家）

調査員

小西 恒典（名古屋市博物館学芸員）  
岸本 誠司（近畿大学文芸学部副手）  
佐藤 直幸（清明学院高校講師）  
中村 浩一（近畿大学大学院修士課程）  
清水 文作（近畿大学文芸学部4回生）  
竹中 直（江戸東京博物館学芸員）

実測調査協力者

高橋 順子（武蔵野美術大学研究生）  
米山 裕子（武蔵野美術大学研究生）

(6) 民俗文化財伝承・活用等事業

高向御頭神事（高向区・御蘭村）〔S52.5.17指定（御頭神事）〕

事業概要 お頭2対については損傷が激しいため、補修、漆塗り直し及び金泥部分の直し。

伝承後継者の養成（舞手・神楽手に講習の実施）。

事業費 2,000千円（国 50% 1,000千円、県10% 200千円）

(7) 史跡等保存整備事業

① 赤木城跡及び田平子峠刑場跡（紀和町）〔H元.10.9指定〕

事業概要 赤木城跡は、藤堂高虎により天正16（1588）年に築城され、戦国末期の遺構をきわめて良好に残し、近世城郭の原型を示している。当地域の発掘調査及び保存整備を行う。

13年度事業 主郭石垣周辺の発掘調査及び石垣の写真測量を行い、その結果をもとに石垣修理及び復元整備工事を実施。

事業費 21,100千円（国50% 10,550千円、県10% 2,110千円）

工事請負 測量：アジア航測株式会社 三重営業所、整備：山瀬造園

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 服部 英雄（九州大学教授）  
樋田 清砂（三重県史編纂専門委員） 前 千雄（三重県史資料調査委員）  
伊東 太作（国際航業技師長） 高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長）  
福角 晏次（紀和町文化財専門委員） 久保 幸一（前紀和町教育委員会教育長）

指導委員会

平成13年12月10日

② 宝塚古墳（松阪市）〔S7.4.25指定、S53.9.18追加指定〕

事業概要 宝塚古墳の有する価値を顕在化し、古代の文化や歴史にふれ・学ぶ空間として保存整備を図る。  
平成11～15年度事業実施予定。

13年度事業 宝塚2号墳の発掘調査（調査面積約380㎡）・発掘調査区図化・1号墳保存整備工事及び宝塚1号墳の発掘調査（調査面積40㎡）。

事業費 40,057千円（国50% 20,000千円、県10% 4,000千円）

設計監理・測量図化 株式会社空間文化開発機構

工事請負 株式会社倉口建設

発掘作業 (株)松阪市シルバー人材センター

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 下村登良男（松阪市文化財保護委員）  
山中 章（三重大学教授） 小野 健吉（奈良文化財研究所主任研究官）  
谷本 鋭次（三重県立博物館長）

指導委員会



平成13年6月20日、10月19日、平成14年2月20日

③ 北畠氏館跡庭園（北畠神社・美杉村）〔S11.9.3指定〕

事業概要 庭園内及び庭園周囲の景観の保全のため、護岸石の修復整備を行い、園内の危険木、護岸支障木の伐採、除根後補植を行う。（平成12～13年度事業）

13年度事業 園路整備、周囲の植え込み、休憩施設（待合い）の設置及び事業報告書作成。

事業費 8,007千円（国50% 4,000千円、県10% 800千円）

設計監理 有限会社龍居庭園研究所

工事請負 株式会社曾根造園

④ 伊勢国分寺跡（鈴鹿市）〔T11.10.12指定〕

事業概要 国史跡伊勢国分寺跡の整備実施計画策定のため主要伽藍の位置確認調査を行う。

13年度事業 現在のところその所在が全く明らかでない塔跡基壇の発見のため金堂東側で広域のトレンチ調査、推定中門の規模確認調査、及び整備予定地の詳細地形測量（1/500）を実施。

事業費 7,000千円（国50% 3,500千円、県10% 700千円）

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

渡辺 寛（皇學館大学教授）

高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長）川越 俊一（奈良文化財研究所考古第二調査室長）

大場 範久（鈴鹿市文化財調査会会長）

指導委員会

平成13年9月26日

⑤ 城之越遺跡（上野市）〔H5.1.20指定〕

事業概要 遺跡の中心である古墳時代の大溝の保存整備は、遺構の実物をみせる修復復元を行い3層構造の保護層により遺構の保護が行われたが、冬季の凍結等により劣化や水際の剥がれがみられ、遺構が壊れる恐れがあるため、大溝法面の保存修理工事を実施する。

13年度事業 大溝法面保護処理層の剥離部分、または浮き部分を除去して、強化剤を混合した真砂土を盛り付けて遺構面の保護処理をし、また、粘性土を盛り付け法面の整形を実施し、その上で、大溝法面全体の強化処理工を行い、表面の仕上げを施工。

事業費 11,000千円（国50% 5,500千円、県10% 1,100千円）

うち、平成14年度へ繰越（国 3,933千円、県 787千円）

設計監理 株式会社空間文化開発機構

工事請負 株式会社神和建设

⑥ 天白遺跡（嬉野町）〔H12.4.11指定〕

事業概要 天白遺跡は縄文時代後期の配石遺構や祭祀遺物が確認された遺跡であり、平成12年に国史跡に指定された。今年度は、国史跡天白遺跡の整備実施計画の策定のための現地地形測量を行う。

13年度事業 史跡整備の実施計画作成の基礎資料として、現況平面図の測量、図化業務を進める。

事業費 3,000千円（国50% 1,500千円、県10% 300千円）

地形測量 株式会社空間文化開発機構

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

泉 拓良（奈良大学教授）

小野 健吉（奈良文化財研究所主任研究官）

指導委員会

平成14年2月12日

⑦ 旧林崎文庫（神宮・伊勢市）〔S29.12.25指定〕

事業概要 建物が老朽化し、雨漏り、腐朽、傾斜等の損傷が発生しているため、講堂・控室・書庫の修理

を行う。また、石碑・ポンプ庫等の覆屋を修理並びに新設、あわせて外構整備とともに、敷地内の修繕を図る。(平成13～14事業)

13年度事業 講堂・控室・書庫・車寄の修理を実施する。  
事業費 40,000千円(国50% 20,000千円、県10% 4,000千円)  
設計監理 株式会社林廣伸建築事務所  
工事請負 株式会社廣垣工務店

(8) 地方拠点史跡等総合整備事業

齋宮跡(三重県)[S54.3.27指定]

事業概要 平成9～13年度において、史跡の積極的な活用を図るため、体験学習施設の整備、全体十分の一模型、方格地割の復元等の整備を行う。

13年度事業 < > 内、工事請負者

史跡全体十分の一野外建物模型製作	<株式会社トリアド工房>
史跡全体十分の一野外建物模型製作設計監理	<株式会社文化財保存計画協会>
史跡全体十分の一模型基盤整備工事	<株式会社北村組>
史跡全体十分の一模型基盤整備工事設計監理	<株式会社文化財保存計画協会>
方格地割区画外周等整備実施設計	<株式会社文化財保存計画協会>
方格地割区画外周等整備工事	<株式会社村田組>
方格地割区画外周等整備工事設計監理	<株式会社文化財保存計画協会>
説明板・音声ガイダンス等製作	<青山電気株式会社>
方格地割整備計画地発掘調査	<財団法人国史跡齋宮跡保存協会>

ほか

事業費 180,000千円(国50% 90,000千円、県50% 90,000千円)

(9) 歴史の道整備活用推進事業

熊野街道(尾鷲市、熊野市、海山町、御浜町、紀伊長島町)

事業概要 平成10～14年度において、熊野街道の価値と魅力を再認識し活用するため、修復及び保存を図る。

13年度事業 熊野市… 熊野街道松本峠道ほかの歴史的、文化的資源としての道の現況調査測量  
尾鷲市… 熊野街道馬越峠道ほかの歴史的、文化的資源としての道の案内板設置と路面等修復及び現況調査測量  
海山町… 熊野街道始神峠道ほかの歴史的、文化的資源としての道の案内板設置と現況調査測量  
紀伊長島町… 熊野街道始神・ツヅラト峠道の歴史的、文化的資源としての道の案内板設置及び現況調査測量  
御浜町… 熊野街道横垣峠、風伝峠の歴史的、文化的資源としての現況調査測量

事業費 熊野市… 10,574千円(国50% 5,287千円、県25% 2,643千円)  
尾鷲市… 15,700千円(国50% 7,850千円、県25% 3,925千円)  
海山町… 3,503千円(国50% 1,550千円、県25% 775千円)  
紀伊長島町… 10,400千円(国50% 5,200千円、県25% 2,600千円)  
御浜町… 4,000千円(国50% 2,000千円、県25% 1,000千円)

(10) 史跡等買上げ事業

① 史跡齋宮跡(明和町)[S54.3.27指定]

事業概要 史跡齋宮跡の公有化(昭和54年度～継続事業)  
13年度事業 約720㎡(3筆)の買収及び家屋の移転補償(1棟)  
事業費 50,011千円(国80% 40,000千円、県15% 7,500千円)

② 史跡美旗古墳群(名張市)[S53.10.17指定]

事業概要 史跡美旗古墳群の公有化（平成4年度～継続事業）  
 13年度事業 2筆（3,216.25㎡）の土地の公有化（1筆は平成14年度へ繰越）  
 事業費 12,702千円（国50% 10,161千円、県10% 1,270千円）  
 内、平成14年度へ繰越（国 7,488千円、県 936千円）

③ 史跡天白遺跡（嬉野町）[H12. 4. 11指定]

事業概要 史跡天白遺跡の公有化（平成12～13年度）  
 13年度事業 7筆（6,768㎡）の土地の公有化  
 事業費 27,265千円（国50% 21,812千円、県10% 2,726千円）

④ 史跡斎宮跡 先行取得償還（明和町）[S54. 3. 27指定]

事業概要 平成12年度先行取得による公有化にかかる起債の償還  
 13年度事業 平成13年度の償還分  
 事業費 5,759千円（国80% 4,607千円、県15% 863千円）

(11) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業

落合古墳群（三重県）

事業概要 落合古墳群から出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

13年度事業 蛇行剣1点、鉄刀2点、鉄剣3点の保存処理を実施。

事業費 2,200千円（国50% 1,100千円、県50% 1,100千円）

処理受託 財団法人元興寺文化財研究所

(12) 文化財等保存活用施設整備事業

松阪市文化財資料館 埋蔵文化財センター（松阪市）

事業概要 国史跡宝塚古墳から出土した船形埴輪をはじめ、市内の埋蔵文化財の調査及び出土品の整理、展示、収蔵できる施設を建設し、文化財保護事業を推進するとともに、地域文化の高揚、活性化を図る。（平成13～14年度）

13年度事業 基礎工事・躯体工事

事業費 123,350千円 [国定額 52,500千円、県定額（国の1/2）26,250千円]

設計監理 (株)日建設計・(株)アスカ総合設計特定建築設計共同企業体

工事請負 丸亀産業株式会社、明光電気株式会社、富士電設備株式会社

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 下村登良男（松阪市文化財保護委員）

谷本 鋭次（三重県立博物館長） 菅原 洋一（三重大学助教授）

杉山 龍一（松阪商工会議所専務理事） 下村 猛（松阪市社会福祉協議会事務局長）

指導委員会

平成13年8月2日、11月19日

(13) 天然記念物食害対策事業

カモシカ（宮川村、飯高町、紀伊長島町、海山町、尾鷲市）[S30. 2. 15指定]

事業概要 紀伊山地でのカモシカ食害の著しい地域において、保護と食害対策のため保護柵を設置。

総事業費 90,970千円（国2/3 60,645千円、県1/6 15,160千円）

市町村名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	請負者
宮川村	34,999	15	26.42	10,307	宮川森林組合
飯高町	8,001	4	12.13	4,322	松阪飯南森林組合

紀伊長島町	8,000	4	5.25	3,180	森林組合おわせ
海山町	9,345	9	7.49	4,505	森林組合おわせ
尾鷲市	30,625	20	25.81	13,437	森林組合おわせ
合計	90,970	57	77.10	35,751	

## 2 県費補助事業（県単独事業分）

### (1) 建造物保存修理事業

#### ① 白山比咩神社 本殿（白山比咩神社・白山町）[H 5. 3. 8 指定]

事業概要 白山比咩神社本殿の半解体修理を図る。（平成11～13年度）

13年度事業 仮設工事 諸設備、共通仮設、素屋根解体撤去

基礎工事 雨落葛石据付、軒下叩き

木工事 大工等

屋根工事 品軒付、平葺

塗装工事 丹塗・胡粉塗、下塗

雑工事 擬宝珠金具新調、建具補修、修理銘札等

事業費 25,000千円（県50% 12,500千円）

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 有限会社生川工業

#### ② 入交家住宅（入交章・上野市）[H10. 3. 17指定]

事業概要 表屋の屋根部分について、素屋根を設置する。

事業費 646千円（県50% 323千円）

設計監理 一級建築士事務所タック設計室

工事請負 有限会社福森建設

#### ③ 旧諸戸家住宅 旧高須御殿（桑名市）[H 8. 3. 7 指定]

事業概要 旧諸戸家住宅 旧高須御殿の傾斜・蟻害を調査し、保存修理計画を策定する。

事業費 676千円（県50% 338千円）

調査設計 株式会社藤川 原設計

#### ④ 杉谷神社本殿（杉谷神社・名張市）[S35. 5. 17指定]

事業概要 杉谷神社本殿の内陣張付壁修理、内陣および本殿外面の彩色剥落止め、本殿防虫処理、本殿海老錠取替を行い保存修理を図る。

事業費 2,000千円（県50% 1,000千円）

工事請負 株式会社丸栄建設、有限会社新井社寺美術研究所、株式会社井筒

### (2) 史跡等保存整備事業

#### ① 粥見井尻遺跡（飯南町）[H12. 6. 19指定]

事業概要 粥見井尻遺跡の復元工事（平成12～14年度）

13年度事業 竪穴式住居復元、解説パネル・イメージパネルの設置、実施設計

事業費 35,419千円（県50% 17,603千円）

設計監理 株式会社文化財保存計画協会

工事請負 新谷建設株式会社

#### ② 名張藤堂家邸跡（名張市）[S28. 5. 7 指定]

事業概要 名張藤堂家邸跡太鼓門の修理（平成13～14年度）

13年度事業 屋根瓦葺替、桁行柱・野地板、垂木・出格子取替、外壁修理  
事業費 20,697千円（県50% 10,340千円）  
設計監理 株式会社林廣伸建築事務所  
工事請負 株式会社丸栄建設

③ 諸戸精文庭園（諸戸精孝、諸戸清光・桑名市）〔S37. 2. 14〕

諸戸（宗）家住宅（諸戸綾子・桑名市）〔H12. 3. 17〕

事業概要 諸戸精文庭園等の保存修理

庭園等：延段不陸補正、雪隠修理、露地門修理、私邸境生垣修理

住宅：本邸西屋根排水不良修理

事業費 5,322千円（県50% 2,661千円）

設計監理 株式会社林廣伸建築事務所

工事請負 株式会社魚津社寺工務店

④ 蓑虫庵（上野市）〔S13. 1. 19指定〕

事業概要 蓑虫庵の保存修理（平成13～14年度）

13年度事業 芭蕉翁堂と東門・中門の茅葺替工事、説明板設置

事業費 4,400千円（県50% 2,200千円）

工事請負 中森建設株式会社

⑤ 馬越峠の一里塚及び熊野街道馬越峠（海山町）〔S63. 6. 26指定〕

事業概要 熊野街道馬越峠の崩落した空洞部に土砂充填、路側部に植生土嚢を設置

事業費 260千円（県50% 130千円）

工事 町直営

⑥ 伊勢安国寺跡（西日野自治会・四日市市）〔S16. 9. 26指定〕

事業概要 伊勢安国寺跡の管理柵の改修

事業費 659千円（県50% 329千円）

工事 自治会直営

(3) 有形文化財保存修理事業

① 木造薬師如来立像（東明寺・白山町）〔S31. 12. 5指定〕

事業概要 東明寺木造薬師如来立像の燻蒸

事業費 300千円（県50% 150千円）

工事請負 中部資材株式会社四日市支店

② 木造聖観音立像ほか（観菩提寺・島ヶ原村）〔S30. 4. 7指定ほか〕

事業概要 観菩提寺木造聖観音立像ほかの燻蒸、台座応急修理

事業費 504千円（県50% 252千円）

工事請負 中部資材株式会社四日市支店、愛知仏像修復工房

③ 紙本淡彩白衣観音像（西来寺・津市）〔S33. 12. 15指定〕

紙本墨書真盛自筆消息（ “ ・ ” ）〔S46. 3. 17指定〕

事業概要 紙本淡彩白衣観音像、像紙本墨書真盛自筆消息の保存修理。軸装の殺菌・黴洗浄、破損・虫損・折れ等の修復・補彩、太巻用桐芯の新調を実施。

事業費 1,976千円（県50% 988千円）

工事請負 表具師 陽光堂

(4) 有形民俗文化財保存修理事業

- ① 賀多神社能舞台（賀多神社・鳥羽市）[H 6. 3. 9 指定]  
事業概要 賀多神社能舞台正面の框及び柱部分の補修  
事業費 400千円（県50% 200千円）  
工事請負 有限会社 大仙建設

(5) 指定文化財記録作成事業

- ① 勝速日神社祭礼（鈴鹿市）[H 9. 9. 10屋台行事 選択]

事業概要 白子四町の屋台と勝速日神社祭礼を詳細に調査し、映像と調査報告書を作成する。  
（平成11～13年度）

13年度事業 屋台の神社曳き入れと曳き出し場면을撮影・編集し映像記録ビデオの作成

事業費 184千円（県50% 92千円）

請負者 株式会社ケーブルネット鈴鹿

指導委員

植木 行宣（京都学園大学教授）

岡田 照子（岐阜女子大学名誉教授）

櫻井 治男（皇學館大学教授）

作成委員

鬼頭 秀明（民俗芸能史研究家）

久志本まどか（民俗音楽研究家）

小谷 成子（愛知県立大学教授）

寺尾 泰寛（郷土史研究家）

藤井 健三（京都市染織試験場職員）

水野 耕嗣（岐阜工業高等専門学校教授）

- ② 八幡神社の若子祭（名張市）[H13. 2. 21選択]

事業概要 八幡神社の若子祭について、伝承されている民俗行事の映像記録と調査報告書を作成する。  
（平成13～14年度）

13年度事業 記録映像企画書作成、調査及び報告書原稿作成

事業費 3,003千円（県50% 1,500千円）

請負者 有限会社海プロダクション

作成委員

植木 行宣（京都学園大学教授）

岡田 照子（岐阜女子大学名誉教授）

櫻井 治男（皇學館大学教授）

松鹿 昭二（名張市文化財調査会委員）

東川 寅信（名張市文化財調査会委員）

藤原 弘丈（滝之原区長）

滝原 尚芳（滝之原副区長）

調査員

橋本 章（仏教大学非常勤講師）

濱千代早由美（名古屋大学大学院博士課程）

明永 恭典（名張市文化財調査会委員）

(6) 天然記念物保存管理事業

- ① 地蔵大マツ（西玉垣町自治会）[H 8. 3. 7 指定]

事業概要 地蔵大マツの整枝・剪定、腐朽部の雨水浸入防止・乾燥殺菌などを行い樹勢回復を図る。

事業費 565千円（県50% 282千円）

請負者 伊藤造園建設株式会社

指導 樹木医 坂口 卓也

- ② 中央構造線月出露頭（沖中由治、三重県・飯高町）[H13. 3. 27指定]

事業概要 指定範囲の境界杭・測量基準点を設置して保存管理を図る。

事業費 892千円（県50% 446千円）

請負者 株式会社イビソク

### 3 県費補助事業（国間接補助事業分）

#### (1) 指定文化財管理事業

① 木造阿弥陀如来坐像（真福寺・松阪市）

事業概要 木造阿弥陀如来坐像の燻蒸

事業費 154千円（県50% 77千円（内、国1/2））

請負者 中部資材株式会社 四日市支店

② 旧崇廣堂ほか（上野市）

事業概要 旧崇廣堂、高倉神社、町井家、猪田神社の防災施設保守点検等

自動火災報知設備保守点検・消化設備保守点検・避雷設備保守点検

事業費 420千円（県50% 210千円（内、国1/2））

請負者 上野ガス株式会社

#### (2) 伝統文化保存団体等活動基盤整備事業

① 一色町能楽保存会（伊勢市）

事業概要 能装束の復元

事業費 2,800千円（県50% 1,400千円（内、国10/10））

請負者 株式会社佐々木能衣装

② 広瀬町かんこ踊り保存会（鈴鹿市）

事業概要 花笠・柳の芯の新調、提灯・台車修理

事業費 391千円（県50% 195千円（内、国10/10））

請負者 大佳建築ほか

③ 分部町唐人踊保存会（津市）

事業概要 真鍮製ラッパ・唐人用特殊笛・唐人用衣装一式製作

事業費 2,561千円（県50% 1,280千円（内、国10/10））

請負者 木村和楽器製作所ほか

④ しゃご馬保存会（津市）

事業概要 踊り手法被・袖着・ほら貝・陣太鼓・鬼面・しゃご棒製作購入

馬体たてがみ、手綱、鈴、ベルト修理

事業費 991千円（県50% 495千円（内、国10/10））

請負者 有限会社浪花屋染工場ほか

⑤ 津民芸保存会（津市）

事業概要 山車用「車輪」修理

事業費 945千円（県50% 472千円（内、国10/10））

請負者 株式会社井筒

⑥ 伊倉津カンコ踊り保存会（津市）

事業概要 1尺かんこ締太鼓製作

事業費 441千円（県50% 220千円（内、国10/10））

請負者 阿部甚兵衛

⑦ 植木神社祇園祭保存会（大山田村）

事業概要 刺繍加工、仕立作業

事業費 1,280千円（県50% 640千円（内、国10/10））

請負者 有限会社祭禮懸装品研究所

### 4 熊野古道世界遺産登録推進事業

- ① 目的 熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が平成13年4月に世界遺産暫定リストに記載されたことにより、世界遺産登録に向けた事業を推進させるため、登録範囲の調査・測量・整備等を行う。

## ② 事業内容

### ・三重県世界遺産学術調査委員会

世界遺産登録全般にわたり指導・助言を受けるため、三重県世界遺産学術調査委員会を設置し、調査・検討をすすめた。

#### 〔委員会の体制〕

- 委員長 酒井 一（三重大学人文学部名誉教授）  
委員 八賀 晋（三重大学人文学部名誉教授・三重県文化財審議会委員）  
委員 高橋美久仁（滋賀県立大学人間文化学部教授）  
委員 寺口 瑞生（松阪大学政策学部助教授）  
委員 萩原なつ子（宮城県環境生活部次長）  
委員 和田 勝彦（四日市市博物館長）

#### 〔委員会の開催日〕

- 第1回委員会 8月27日 勤労福祉会館（津市栄町）  
第2回委員会 1月28日 県尾鷲庁舎（尾鷲市坂場西町）

### ・熊野古道世界遺産登録推進測量事業補助金

登録候補箇所を国指定史跡に申請するにあたり必要な測量図面作成にかかる費用の補助した。

- 大内山村 事業費 3,000千円（県75% 2,250千円）  
紀伊長島町 事業費11,500千円（県75% 8,625千円）  
海山町 事業費 1,665千円（県75% 1,248千円）  
御浜町 事業費 1,048千円（県75% 786千円）  
紀和町 事業費 6,369千円（県75% 4,776千円）

### ・「紀伊山地の霊場と参詣道」展

世界遺産登録にかかり、広く「紀伊山地の霊場と参詣道」のついて情報発信をはかるため、三重県・和歌山県・奈良県共催によるパネル展及びシンポジウムを開催。

- 日 時：平成14年2月21日～3月13日（シンポジウムは2月21日開催）  
場 所：東京銀座電通ビル（東京都中央区）

## 5 民間による助成

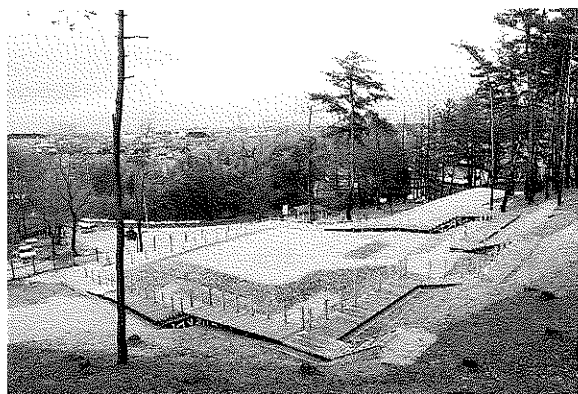
民間団体による文化財保護助成事業について、市町村教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 地域の伝統文化助成（財団法人 安田生命クオリティオブライフ文化財団）  
「てんてん」保存会（飯南町） 助成額 800千円  
なすび団扇継保存会（津市） 助成額 100千円
- (2) 地域文化活動助成（財団法人 沖永文化振興財団）  
富田鯨船保存会連合会（四日市市） 助成額 200千円

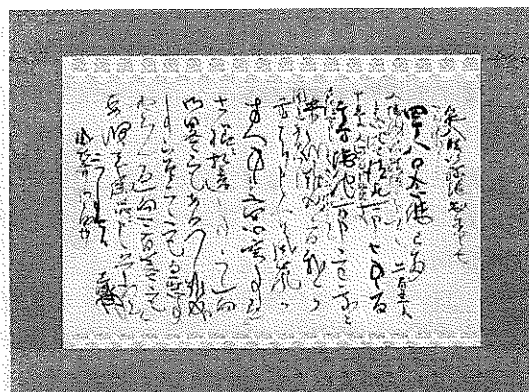


斎宮跡地方拠点史跡等総合整備（明和町）

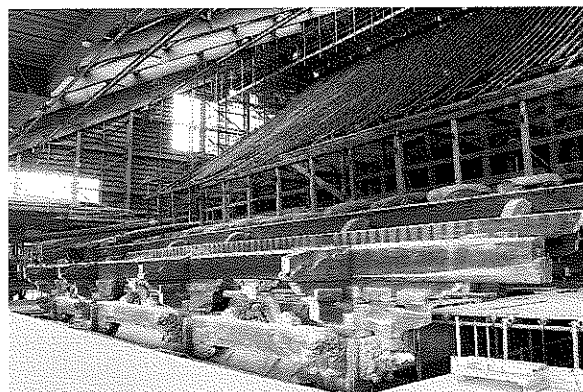




宝塚古墳



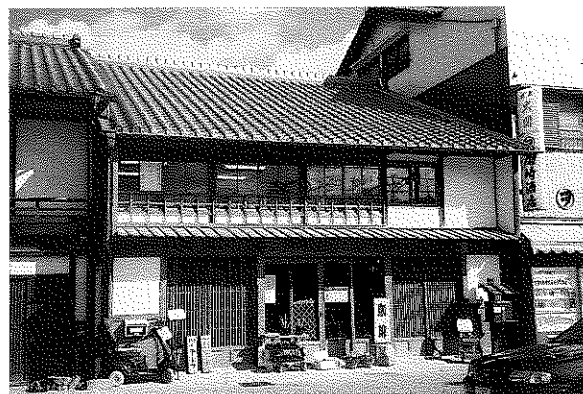
紙本墨書真盛自筆消息（津市）



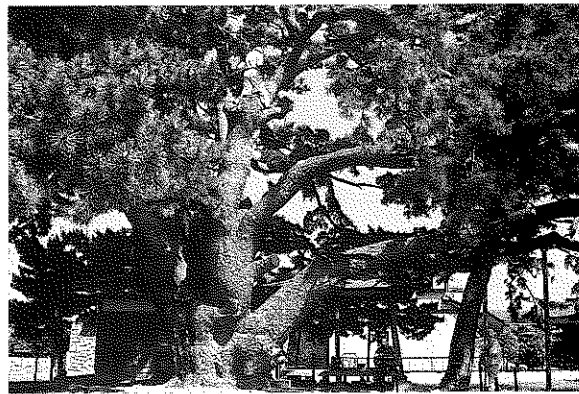
専修寺御影堂（津市）



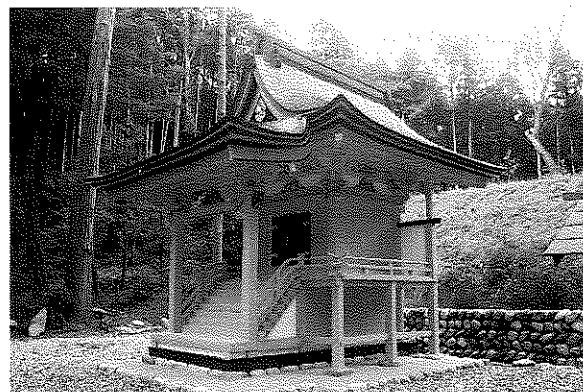
旧林崎文庫（伊勢市）



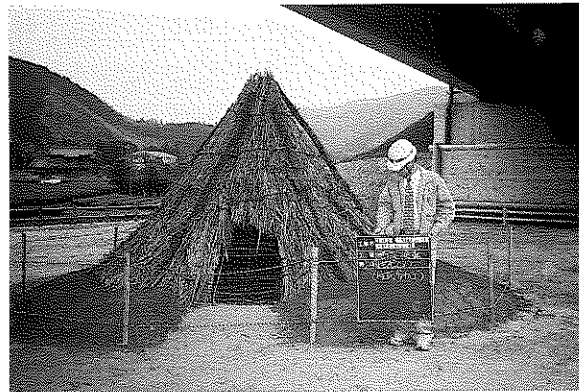
関町関宿重伝建保存地区（関町）



地藏大マツ（鈴鹿市）



白山比咩神社本殿（白山町）



粥見井尻遺跡復元住居（飯南町）

## IV 文化財の管理・普及

### 1 登録審査

#### (1) 銃砲刀剣類登録審査会

##### ・目的

銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

##### ・開催期日

4/17 県津庁舎会議室      5/15 県熊野庁舎会議室      6/19 県四日市庁舎会議室  
7/17 県伊勢庁舎会議室      10/16 県津庁舎会議室      12/18 県上野庁舎会議室  
2/19 県松阪庁舎会議室

・新規登録      刀剣類 290件      銃砲類 28件      登録件数累計 49,624件

・登録証再交付      刀剣類 22件      銃砲類 2件

・製作承認      刀剣類 1件（新規内数）

##### ・登録審査委員

阿部 務

荒木 知彦

福井 款彦

織田 寛 ※平成13年4月1日～平成13年6月18日

早川 繁一 ※平成13年6月19日～平成14年3月31日

#### (2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

##### ・目的

天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

・日時      平成13年5月13日（日） 9:00～

・場所      伊勢市宇治浦田町      豊川浦田線街路広場（宇治公民館前駐車場）

・審査員      中野 利久（日本犬保存会理事・日本犬保存会中部連合会会長）

            秦 正武（日本犬保存会審査員・日本犬保存会三重支部長）

            久保 隆（日本犬保存会審査員）

##### ・登録日本犬

登録日	番号	犬名	性	所有者住所
H13. 6. 20	671	美貴姫	雌	伊勢市
H13. 6. 20	672	勝嶺	雄	四日市市
H13. 6. 20	673	粹艶の涼風	雌	伊勢市
H13. 6. 20	674	第二曙	雄	度会郡御園村
H13. 6. 20	675	悠山	雄	久居市
H13. 6. 20	676	玉	雌	四日市市
H13. 6. 20	677	粹艶の舞花	雌	津市
H13. 6. 20	678	神路ノ秀春	雄	伊勢市
H13. 6. 20	679	深山	雄	多気郡大台町
H13. 6. 20	680	雪姫	雌	伊勢市
H13. 6. 20	681	五条白豊	雄	三重郡菰野町
H13. 6. 20	682	夏美	雌	松阪市
H13. 6. 20	683	藤秀	雄	一志郡嬉野町
H13. 6. 20	684	斉の秀竜	雄	多気郡明和町

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

・目的

天然記念物日本鶏の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認められた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

・日時 平成13年5月27日(日) 9:00～

・場所 多気郡明和町大字竹川 斎宮歴史博物館駐車場

・審査員 大川 一彦(天然記念物日本鶏保存会事務局長)

河村 逸彦(全国日本鶏保存会参与)

桜木 博(菰野町天然記念物日本鶏保存会会長)

富田 靖男(財三重県環境保全事業団特別研究員・元三重県立博物館長)

萬野 利亮(三重県日本鶏保存会審査員)

・登録日本鶏

登録日	番号	鶏種	内種	性	所有者住所
H13. 6. 27	902	烏骨鶏	白色種	雌	久居市
H13. 6. 27	903	地鶏	狸々種	番	一志郡一志町
H13. 6. 27	904	軍鶏	八木戸	番	一志郡一志町
H13. 6. 27	905	烏骨鶏	白色種	番	一志郡一志町
H13. 6. 27	906	烏骨鶏	白色種	番	一志郡美杉村
H13. 6. 27	907	軍鶏	八木戸	雌	一志郡美杉村
H13. 6. 27	908	地鶏	狸々種	番	一志郡美杉村
H13. 6. 27	909	河内奴鶏	五色種	番	伊勢市
H13. 6. 27	910	小国鶏	白藤種	雄	度会郡二見町
H13. 6. 27	911	地鶏	狸々種	番	多気郡大台町
H13. 6. 27	912	地鶏	狸々種	番	多気郡大台町

2 文化財の管理

(1) 指定文化財説明板設置

・設置文化財

藤原町	篠立の風穴	事業費	236千円(県50% 118千円)
紀伊長島町	フウラン群生地	事業費	86千円(県50% 43千円)
紀伊長島町	鈴島暖地性植物群落	事業費	309千円(県50% 154千円)
大山田村	オオサンショウウオ	事業費	99千円(県50% 49千円)
東員町	木造薬師如来坐像	事業費	640千円(県50% 320千円)

(2) 文化財パトロール

・事業の概要 県下における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財調査員を任命して巡視活動を行っている。巡視活動の報告は各教育事務所において毎月まとめ、スポーツ・生涯学習課へ報告されるとともに写しが当該市町村教育委員会に送付され、迅速な行政対応を行っている。

・巡視報告 各調査員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。なお、埋蔵文化財専門職員が配置されている市町村については、埋蔵文化財のパトロールはこの事業では実施していない。また、種別については「建：建造物」「彫：彫刻」「絵文：絵画文書」「考：考古資料」「有民：有形民俗文化財」「史：史跡」「天：天然記念物」「埋：埋蔵文化財」と略記した。

A：パトロール実施状況一覧

市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計	市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計	
桑名市									0	宮川村							4	13	17	
多度町							3		3	伊勢市		1	2				2		5	
長島町									0	玉城町							1	4	5	
木曾岬町									0	二見町	1								1	
北勢町								19	19	小俣町									0	
員弁町								6	6	南勢町							3	1	4	
大安町		1						13	14	南島町							3	1	4	
東員町		1							7	大宮町							1		1	
藤原町							2	13	15	紀勢町									0	
四日市市							8		8	度会町	1							2	3	
菰野町							5	20	25	御薮村									0	
楠町									0	大内山村	1								1	
朝日町									0	鳥羽市	3							1	4	
川越町									0	浜島町									0	
鈴鹿市		3					22		25	大王町									0	
龜山市							1		1	志摩町							1		1	
関町								1	1	阿児町									0	
津市		3							3	磯部町								2	2	
河芸町							32		32	上野市	5						7		12	
芸濃町							2		2	名張市							9		9	
美里村						7	1	19	27	伊賀町	2				2	5	18	27		
安濃町		2							2	阿山町	1							33	34	
久居市							1		1	島ヶ原村								8	9	
香良洲町								4	4	大山田村						4		24	28	
一志町							1		1	青山町							4		4	
白山町								10	10	尾鷲市	5			5	4	3			17	
嬉野町									0	紀伊長島町	1				2	5			8	
美杉村							3		3	海山町	1						2	1	4	
三雲町									0	熊野市	2			1	3	4	9	19		
松阪市		11					2		13	御浜町	1						2	2	5	
飯南町									1	紀宝町							1	4	5	
飯高町							3	1	4	紀和町	2				1	1			4	
多気町	1						2	1	4	鶴殿村								1	1	
明和町	2								2											
大台町						2			31	33										
勢和村									35	35	合計	29	22	2	0	6	25	114	337	533

B：巡視報告で指摘等のあったもの

大安町	野々田遺跡	土壌改良で掘削。
東員町	薬師堂木造如来坐像	虫による損傷著しい。
四日市市	川島町シデコブシ自生地	来訪者の案内標識がない。
	御池沼沢植物群落	ミクリガヤ不良、帰化植物・ササの侵入。
菰野町	杉谷中世墓	五輪塔が倒壊
	黒石原古墳群	石碑が見にくくなっている。
	鎌ヶ岳ブナ原始林	一部のブナの枯死がみられる。
鈴鹿市	府南寺金剛力士像	若干サビがすすんでいる。
	法雲寺薬師如来坐像	支柱にサビの進行がある。
	石薬師の蒲ザクラ	太い幹の枯死がみられる。
	川俣神社のスタジイ	台風以来、樹勢がよわり、太い幹の枯死みられる。
	府南寺のアイナシ	蛾の幼虫の食害にあう。

	入道ヶ岳イヌツゲ及びアセビ群落	イヌツゲはほとんど枯死。
	金生水沼沢植物群落	沼沢植物が生育する環境が保たれていない。
	地藏大マツ	一部の枝が枯損。
	西の城戸のヒイラギ	食害の跡がみられる。
	小岐須の屏風岩	登山客に説明板がほしい。
久居市	榊原の貝石山	風化がすすみ、崩落のおそれあり。
河芸町	徳居37号窯跡	土取りにより消滅。
	中起遺跡	遺跡東側に大規模な土盛りみられる。
芸濃町	長徳寺の竜王ザクラ	葉に病虫害。
美里村	家所城跡	説明板の傷みが増す。
香良洲町	香良洲西山遺跡	中学校の改築工事で遺跡掘削。
	高砂遺跡	付近で海岸堤防改修工事。
松阪市	朝田寺本堂	げばらの瓦、軒先が少し波うつ。
	本居宣長旧宅	建物の腐朽はすすんでいる。
	竜泉寺山門	全体にやや腐朽。塀の袖がたるんでいる。
	甘棠亭	全体的に腐朽してきている。
	薬師堂本堂及び仁王門	腐朽・欠失・たわみ多い。
	不動院のムカデラン	一部剥落。
飯高町	蓮のムシトリスミレの群落	盗掘されている。
多気町	柄ヶ池湿地植物群落	池南岸のクチナン群落は雑草侵入により樹勢衰える。
	仮) 風子遺跡	重機入り造成中。
明和町	斎宮ノハナショウブ群落	セリ・ノカンゾウの雑草が増加している。
	転輪寺庫裡	床下のシロアリを駆除する必要がある。
勢和村	中ノ広A遺跡	一部谷を埋め、資材置場とされている。
	上ノ平遺跡	南端部を重機で掘削。
	ミソノ沖遺跡	民家を取り壊し、新築工事が始まっている。
大台町	中野遺跡	茶の改植の準備中
	猪越遺跡	分譲宅地化する。
	中ノ切遺跡	置土整地後、宅地化。
	仮) 長ヶ遺跡	砂利採取開始。
	下三瀬館跡	北側急崖が崩落。
	下ノ切遺跡	宅地化とみられる置き土あり。
宮川村	大淵寺のスタジイ	標柱・説明板が必要。
伊勢市	金剛證寺本堂	内陣の柱に亀裂。壁体の板張りに隙間。
	鷲嶺の水穴	説明板の表面がはげ落ちる。
	寂照寺経蔵	げばらが波うち、天井が垂れ下がっている。
鳥羽市	井戸垣外遺跡	遺跡の北側の山が開発される。
	庫蔵寺本堂	退色が少々ある。
	楠路ヶ脇のヤマトタチバナ	衰弱傾向にある。
	奈佐のヤマトタチバナ	周辺の雑木を整理した方がよい。
大宮町	三瀬坂峠道	沢水による侵食が激しい。
南勢町	鬼ヶ城暖地性シダ群落	盗掘と乾燥により荒廃。
	細谷暖地性シダ群落	乾燥が進行。希少なシダ植物がほとんどみられない。
南島町	道方の浮島	ニシキゴイに貴重な水草が食べられるおそれ。
紀勢町	船附遺跡	土取りで周囲の環境が変わる。
阿児町	妙林寺の五輪塔群	囲いや屋根が台風で破損。
磯部町	浄土墓地遺跡	県道工事予定地で五輪塔・土盛り・墓石発見。
	浄土遺跡	工事予定地にかかるか。
	井の広遺跡	要試掘。
上野市	常住寺閻魔堂	外縁床板の一部に木口割れ。
	射手神社石造十三重塔	老樹木の枝落ち等による損傷が心配。
	上野市上水道水源地送水機関室	継続した修理・復元が必要。
	高倉神社のシブナシガヤ	早急に治療する必要がある。

名張市	オオサンショウウオ	孵化幼生16体が死亡していた。
伊賀町	霊山山頂遺跡 馬酔木及びイヌツゲ群落	テレビ中継所建設により馬酔木が伐採された。
	天長神社跡	造成工事により消滅。
	天長山3号	墳丘消滅か。
	福地城跡	県史跡隣接の郭で造成工事。
阿山町	春日神社拜殿	木部全般の総合的な点検・修理の必要あり。
	土穴1号墳	横穴式石室の奥壁が崩落。
島ヶ原村	米迎寺石造宝塔	説明板支柱が腐朽により倒れる。
	観菩提寺楼門	北西角の一部に虫食損傷あり。
青山町	霧生のクマガイソウ	クマガイソウ群落が確認できなかった。
尾鷲市	賀田羽根の五輪塔	塔の一部が転倒する。
	八鬼山峠道	ところどころ草におおわれている。
	石屋堂石仏	倒木あり。
紀伊長島町	ツツラト峠道	ところどころに落石・土砂崩れあり。
	豊浦神社社叢	ニホンタチバナが他の木に圧迫されている。
	フウラン群生地	フウラン着生のカキが衰弱。
	鈴島暖地性植物群落	標柱の傷み激しい。
	大島暖地性植物群落	歩道沿いに稀少植物あり。要注意。
海山町	長島城跡	登山道に土砂崩れ。
	乙の輪石仏	近隣で土砂採取。影響危惧される。
熊野市	鬼ヶ城	巨岩が3個落下し、歩道に散乱。
紀和町	瀨八丁	川底が掘り下げられている。

(三重県文化財調査員)

北勢教育事務所管内 松本 覚 (白瀬小学校) 鎌田雅生 (西陵中学校) 川添 護 (桑名高校) 桐生定巳 嶋村明彦 (関町教育委員会) 園田純子 (津市教育委員会)	中勢教育事務所管内 服部久士 (津東高校) 齋藤直樹 (美杉南小学校) 下村純也 (久居市教育委員会) 嶋村明彦 (関町教育委員会) 園田純子 (津市教育委員会)	松阪教育事務所管内 増田安生 (飯高西中学校) 奥 義次 (度会高校) 三井博之 松月和明 (伊勢工業高校) 藤田直信 (嬉野町教育委員会)
南勢志摩教育事務所管内 大西素行 (穂原小学校) 北島充生 (南島中学校) 田村陽一 (宇治山田高校) 高見宣雄 (安乗小学校) 村上喜雄 (的矢小学校) 前川嘉宏 (有田小学校) 橋本 清 (伊勢高校) 岡 與一 松月久和 (伊勢工業高校) 藤田直信 (嬉野町教育委員会)	上野教育事務所管内 市田進一 寺岡光三 (森精機製作所) 松月茂明 (日本サンショウウオセンター) 杉澤 学 (奈良女子大附属小学校) 滝井利彰 (タック設計室) 瀧川和也 (県史編纂室)	尾鷲教育事務所管内 津田雄一郎 (相賀小学校) 山本和彦 (長島高校) 田崎通雅 (尾鷲市教育委員会)  熊野教育事務所管内 福村直人 (新鹿小学校) 花尻 薫 岩本直樹 (入鹿小学校)

(3) 文化財保護にかかる会議

(三重県文化財調査員会議)

指定文化財及び埋蔵文化財保護行政を一層充実させ、県の旅費システムの改正があったこともうけ、文化財パトロールが円滑にすすめる事ができるよう、文化財調査員と各教育事務所文化財保護担当者を対象に実施した。

- ・日 時 平成13年5月27日(日)午後1:30～3:00
- ・場 所 斎宮歴史博物館 講堂
- ・内 容 平成13年度文化財保護事業の概要  
平成13年度文化財パトロールの実施について  
研修 斎宮歴史博物館展覧会「王朝人の四季」視察

(4) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘(土木工事等)に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成13年4月から14年3月までに処理を行った当該通知・届出は以下のとおりである。

区分 地域	57条の2											57条の3							57条 1項	58条 の2	計				
	工 場	個 人 住 宅	住 宅	店 舗	そ の 他 建 物	宅 地 造 成	土 地 区 画 整 理	土 砂 採 取	水 道 ・ ガ ス	農 業 関 係	そ の 他 開 発	道 路	河 川	学 校	工 場	そ の 他 建 物	公 園 造 成	水 道 ・ ガ ス				下 水 道	農 業 関 係	そ の 他 開 発	
桑名市	18	3	3	2	2					2	1				1	1		1				10	44		
多度町	3			1													1							4	
長島町																								0	
木曾岬町																								0	
北勢町																								0	
員弁町																								0	
大安町																								0	
東員町																								0	
藤原町										1													1	2	
四日市市	7	3	1	2	9			1	3		3				1			7	1			2	40		
菰野町																								0	
楠町																								0	
朝日町																								0	
川越町																								0	
鈴鹿市	3	36	3	2	11	3		1	6		3	1					3		1			7	70		
亀山市						1																	2	3	
関町																								0	
津市						1																		1	
河芸町																								0	
芸濃町																								0	
美里村																								0	
安濃町					1										1								1	1	4
久居市																								0	
香良洲町																								0	
一志町			1									1												2	4
白山町																								0	
嬉野町	11	2	2	1	3					1													1	21	
美杉村																								0	
三雲町	4	1			1	6																	1	13	





## (5) 埋蔵物の文化財認定

No.	認定日	物件名	発見日	発見者	発見場所	土地所有者	保管場所
1	H13. 4. 27	土師器・須恵器・山茶碗・木製品近世陶磁器 整理箱20箱	H13. 3. 30	朝日町教育委員会	朝日町埋繩(辻子遺跡)	朝日町	朝日町歴史博物館
2	H13. 4. 4	土師器・須恵器・丸瓦・平瓦・鬼瓦・軒丸瓦 整理箱7箱	H13. 3. 19	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市広瀬町(長者屋敷遺跡)	谷川次雄 他4名	鈴鹿市考古博物館
3	H13. 5. 14	中・近世陶磁器 整理箱14箱	H13. 4. 2	山吉圭作	海山町白浦	国	山吉氏自宅
4	H13. 5. 22	土師器・須恵器・山茶碗・常滑焼 整理箱3箱	H13. 5. 22	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市加佐登(国分遺跡)	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館
5	H13. 6. 7	須恵器・土師器・中世陶磁器・近世瓦・近世陶磁器 整理箱62箱	H13. 6. 1	亀山市教育委員会	亀山市東丸町(亀山城跡)	亀山市	亀山市文化財整理所
6	H13. 5. 31	土師器・須恵器・山茶碗・陶器・鉄器 整理箱60箱	H13. 4. 25	北勢町教育委員会	北勢町阿下喜(塚原遺跡)	北勢町	教育委員会文化振興課
7	H13. 6. 20	土師器・須恵器・石鏃・鉄製品 整理箱6箱	H13. 6. 19	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市岸岡町(天王遺跡)	三重県厚生農業協同組合連合会	鈴鹿市考古博物館
8	H13. 6. 5	家形埴輪・閉形埴輪・船形埴輪・円筒埴輪・壺形埴輪・蓋形埴輪等 整理箱180箱	H13. 3. 31	松阪市教育委員会	松阪市宝塚町(宝塚1・2号墳)	松阪市	松阪市文化財センター
9	H13. 5. 1	石器・縄文土器 整理箱50箱	H13. 3. 31	飯南町教育委員会	飯南町深野町(磯田畑遺跡)	磯田茂	飯南町産業文化センター
10	H13. 7. 4	須恵器・土師器・埴輪 整理箱10箱	H13. 7. 4	安濃町教育委員会	安濃町内多(谷古墳)	有限会社武智建設	安濃町教育委員会倉庫
11	H13. 7. 13	土師器・須恵器・常滑焼・山茶碗・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒瓦 整理箱10箱 土囊袋6袋	H13. 7. 12	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市国分町(国分西遺跡)	永戸孝夫	鈴鹿市考古博物館
12	H13. 7. 24	弥生土器等 整理箱20箱	H13. 7. 17	四日市市教育委員会	四日市市大矢知町(山奥遺跡)	国土交通省	文化財整理作業所
13	H13. 8. 20	土師器・陶器 整理箱25箱	H13. 7. 31	勢和村教育委員会	勢和村片野(片野殿垣内遺跡)	片野農地基盤整備組合	勢和村ふるさと交流館収蔵庫
14	H13. 4. 4	須恵器・土師器・埴輪等 整理箱50箱	H13. 4. 2	三重県教育委員会	朝日町柿(城ノ広遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
15	H13. 4. 10	土師器・瓦器・陶器皿・捏鉢・播鉢等 整理箱1箱	H13. 6. 12	三重県教育委員会	白山町川口(川口城南方遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
16	H13. 6. 18	弥生土器・土師器・須恵器・陶器・磁器等 整理箱3箱	H13. 6. 12	三重県教育委員会	津市大里窪田町(中齋遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
17	H13. 10. 23	土師器・陶器等 整理箱7箱	H13. 8. 23	三雲町教育委員会	三雲町小舟江(松本権現前遺跡)	東海冷蔵株式会社	教育委員会施設
18	H13. 10. 26	土師器・陶磁器類 整理箱8箱	H13. 10. 12	一志町教育委員会	一志町片野(片野遺跡)	有限会社ハートピア	一志町埋蔵文化財整理室
19	H13. 11. 2	土師器・須恵器・山茶碗 整理箱8箱	H13. 10. 23	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市中瀬古町(中瀬古南遺跡)	小川昇	鈴鹿市考古博物館
20	H13. 11. 19	土師器・須恵器・瓦類・灰釉陶器・鉄製刀子・磨製石斧 整理箱29箱 土囊袋164袋	H13. 10. 31	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市国分町(伊勢国分寺跡)	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館
21	H13. 12. 7	縄文土器・須恵器・土師器・山茶碗・陶器 整理箱7箱	H13. 11. 27	安濃町教育委員会	安濃町戸島(山ノ下B3号墳)	安濃町	安濃町教育委員会倉庫
22	H14. 1. 15	弥生土器 整理箱35箱	H13. 12. 25	四日市市教育委員会	四日市市大矢知町(久留倍遺跡)	国土交通省	文化財整理作業所
23	H14. 1. 28	丸瓦・平瓦 整理箱8箱 土囊袋31袋	H14. 1. 15	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市広瀬町(長者屋敷遺跡)	伊藤甫	鈴鹿市考古博物館
24	H14. 2. 7	弥生土器 2個体分	H14. 1. 12	木下海斗	鳥羽市菅島町(菅島天神遺跡)	鳥羽市	菅島小学校
25	H14. 2. 28	土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・瓦類・柿・磨製石斧・石皿 整理箱18箱 土囊袋96袋	H14. 2. 14	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市国分町(国分西遺跡)	藤田完	鈴鹿市考古博物館
26	H14. 2. 28	瓦・土師器・須恵器・石斧 整理箱32箱	H14. 2. 7	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市広瀬町(長者屋敷遺跡)	鈴木末義 ほか2名	鈴鹿市考古博物館

27	H14. 3. 5	土器・陶器・磁器・瓦類・銭貨 整理箱42箱	H13. 10. 1	上野市教育委員会	上野市丸之内(上野城跡)	三重県	埋蔵文化財整理所
28	H14. 3. 4	土器・陶器・磁器・瓦 整理箱 5箱	H13. 11. 9	上野市教育委員会	上野市丸之内(上野城跡)	上野市	埋蔵文化財整理所
29	H14. 3. 8	縄文土器・石斧・石鏃・山茶碗 整理箱18箱	H14. 2. 29	阿児町教育委員会	阿児町鶴方(長尾遺跡)	阿児町	阿児アリーナ倉庫
30	H14. 3. 20	宮殿型陶製品・須恵器・円面硯・陶棺・土馬 整理箱1200箱	H13. 5. 31	上野市教育委員会	上野市佐那具町(御墓山窯跡)	ミカサ金属工業株式会社	上野市歴史民俗資料館ほか
31	H14. 3. 27	経石・経本・土師器・銭貨 整理箱16箱	H13. 10. 22	上野市教育委員会	上野市服部町(法華経塔)	国土交通省	埋蔵文化財整理所
32	H13. 12. 4	弥生土器・土師器・陶器 整理箱10箱	H13. 11. 30	三重県教育委員会	大安町片樋(宮山遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター
33	H13. 10. 22	土師器・陶器・磁器 整理箱11箱	H13. 10. 15	三重県教育委員会	上野市丸之内～恵美須町(上野城下町遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
34	H14. 1. 15	土師器・陶器 整理箱11箱	H14. 1. 10	三重県教育委員会	大台町粟生(粟生城跡)	日本道路公団	三重県埋蔵文化財センター
35	H14. 1. 15	土師器・須恵器 整理箱380箱	H14. 1. 7	三重県教育委員会	伊勢市有滝町(高之御前遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
36	H14. 1. 22	土師器・陶器・鉄製品 整理箱12箱	H14. 1. 11	三重県教育委員会	伊賀町野村(野添遺跡)	伊賀町土地改良区	三重県埋蔵文化財センター
37	H14. 2. 4	弥生土器・山茶碗・土師器 整理箱20箱	H14. 1. 28	三重県教育委員会	三雲町曾原(田面遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
38	H14. 2. 4	土師器・須恵器・木製品 整理箱140箱	H14. 1. 28	三重県教育委員会	嬉野町宮古(堀田遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
39	H14. 2. 7	中近世陶磁器 整理箱 5箱	H14. 1. 11	三重県教育委員会	明和町池村(野田塚・野田遺跡)	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター
40	H14. 2. 7	古式土師器・土師器 整理箱8箱	H14. 1. 18	三重県教育委員会	明和町有爾中(発シ A 遺跡)	農林水産省	三重県埋蔵文化財センター
41	H14. 2. 28	土師器・山茶碗 整理箱20箱	H14. 2. 20	三重県教育委員会	大王町名田(真名井神社裏包含地)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
42	H14. 3. 4	土師器・木製品 整理箱60箱	H14. 2. 25	三重県教育委員会	鈴鹿市十宮町(八重垣神社遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
43	H14. 3. 5	土師器・須恵器 整理箱16箱	H14. 2. 27	三重県教育委員会	鈴鹿市国分町(国分西遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
44	H14. 3. 5	土師器 整理箱26箱	H14. 2. 27	三重県教育委員会	大台町菅合(東前遺跡)	日本道路公団	三重県埋蔵文化財センター
45	H14. 3. 8	弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗 整理箱95箱	H14. 3. 1	三重県教育委員会	津市南河路・野田(式ノ坪・替田遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
46	H14. 3. 12	土師器・陶器 整理箱110箱	H14. 3. 5	三重県教育委員会	松阪市川島町(川島遺跡他)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
47	H14. 3. 12	縄文土器・弥生土器・土師器 整理箱70箱	H14. 3. 5	三重県教育委員会	四日市市小牧町(小牧北遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
48	H14. 3. 12	土師器・常滑焼・山茶碗 整理箱75箱	H14. 3. 5	三重県教育委員会	三雲町中林・中道・小津(中林・中道遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター
49	H14. 3. 12	土師器・山茶碗 整理箱11箱	H14. 3. 5	三重県教育委員会	三雲町小津(小津遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター
50	H14. 3. 12	弥生土器・土師器・山茶碗 整理箱148箱	H14. 3. 5	三重県教育委員会	嬉野町新屋庄(筋違遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター
51	H14. 3. 20	弥生土器・土師器・陶器 整理箱43箱	H14. 3. 8	三重県教育委員会	四日市市広永町(間ノ田・辻子遺跡)	日本道路公団	三重県埋蔵文化財センター
52	H14. 3. 20	土師器 整理箱 1箱	H14. 3. 8	三重県教育委員会	勢和村片野(神田遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
53	H14. 3. 28	土師器・須恵器 整理箱 1箱	H14. 1. 9	三重県教育委員会	四日市市伊坂町(伊坂遺跡)	日本道路公団	三重県埋蔵文化財センター
54	H14. 3. 28	縄文土器・山茶碗・土師器 整理箱 6箱	H14. 3. 19	三重県教育委員会	亀山市三寺町(金森遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
55	H14. 3. 29	灰釉陶器・土師器・須恵器・陶器 整理箱 2箱	H14. 3. 22	三重県教育委員会	東員町長深(広山 B 遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター

(6) 出土文化財の譲与

No.	申請日	申請者	物件名	発見場所	発見日	保管場所
1	H13. 6. 8	西念寺 藤田性全	近世土師器・陶器・火葬人骨・寛永通宝・礫石経 整理箱8箱	龜山市木下町 (勢武谷経塚)	H12. 6. 2	真乘和尚墓地墓室
2	H13. 8. 6	多度町 教育委員会	須恵器・土師器 整理箱10箱	多度町小山 (天王平遺跡)	H13. 1. 15	多度町郷土館
3	H13. 10. 18	鈴鹿市 教育委員会	山茶碗・山皿・土師器・須恵器・青磁・白磁・青白磁・常滑焼・平瓦・灰釉陶器・緑釉陶器・瓦器・砥石・石鍋・石鏝 整理箱88箱	鈴鹿市国府町 (梅田遺跡)	H13. 2. 6	鈴鹿市考古博物館
4	H13. 11. 1	四日市市 教育委員会	弥生土器・須恵器 整理箱60箱	四日市市大矢知町 (山奥遺跡7次)	H12. 3. 31	文化財整理作業所
5	"	四日市市 教育委員会	弥生土器 整理箱1箱	四日市市大矢知町 (久留倍遺跡1次)	H12. 3. 31	文化財整理作業所
6	"	四日市市 教育委員会	須恵器・土師器・瓦 整理箱50箱	四日市市東坂部町 (西ヶ谷遺跡3次)	H13. 3. 7	文化財整理作業所
7	"	四日市市 教育委員会	須恵器・土師器・瓦 整理箱50箱	四日市市東坂部町 (西ヶ谷遺跡4次)	H13. 3. 7	文化財整理作業所
8	H14. 1. 21	松阪市 教育委員会	冢形埴輪・冢形埴輪・船形埴輪(2号船)・円筒埴輪・楕円筒埴輪・壺形埴輪 整理箱180箱	松阪市宝塚町 (宝塚1号墳)	H13. 3. 31	松阪市文化財センター
9	H14. 2. 1	朝日町 教育委員会	土師器・須恵器・山茶碗・近世陶磁器・木製品 整理箱20箱	朝日町埋縄 (辻子遺跡)	H13. 3. 30	朝日町歴史博物館
10	H14. 3. 4	鈴鹿市 教育委員会	土師器・須恵器・灰釉陶器・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・柿・鉄釘 整理箱224箱	鈴鹿市国分町 (伊勢国分寺跡)	H12. 10. 23	鈴鹿市考古博物館
11	H14. 3. 4	鈴鹿市 教育委員会	土師器・須恵器・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・鬼瓦 整理箱7箱	鈴鹿市広瀬町 (長者屋敷遺跡)	H13. 3. 19	鈴鹿市考古博物館
12	H14. 3. 7	鈴鹿市 教育委員会	土師器・須恵器・山茶碗・常滑焼 整理箱3箱	鈴鹿市加佐登 (白鳥中学校遺跡)	H13. 5. 22	鈴鹿市考古博物館
13	H14. 3. 7	鈴鹿市 教育委員会	土師器・須恵器・山茶碗・常滑焼・丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦 整理箱10箱 土嚢袋6袋	鈴鹿市国分町 (国分西遺跡)	H13. 7. 12	鈴鹿市考古博物館
14	H14. 3. 7	鈴鹿市 教育委員会	土師器・須恵器・石鏝・鉄製品 整理箱6箱	鈴鹿市岸岡町 (天王遺跡)	H13. 6. 19	鈴鹿市考古博物館
15	H14. 3. 20	北勢町 教育委員会	土器・鉄器 整理箱60箱	北勢町阿下喜 (塚原遺跡)	H13. 4. 25	北勢町町民会館

3 国・県指定文化財の現状変更等(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

(1) 国指定文化財現状変更等

① 国指定史跡及び名勝等現状変更

(\*印は県等の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
上野城跡	上野市 ほか	市長	H13. 2. 23	H13. 4. 6	H13. 11. 30	発掘調査
		米島慶子	H13. 11. 21	H13. 12. 21	H14. 3. 18	崩落防止工事
		市長	H14. 1. 7	H14. 2. 4		公衆便所改築
伊勢国分寺跡	鈴鹿市	市教育長	H13. 4. 19	H13. 6. 15	H14. 3. 25	発掘調査
		市教育長	H14. 3. 7	H14. 4. 19		発掘調査
旧崇廣堂	上野市	市長	H13. 5. 21	H13. 5. 29*	H13. 12. 20	舗装オーバーレイ
宝塚古墳	松阪市	市教育長	H13. 5. 25	H13. 7. 17		発掘調査
本居宣長墓 (山室山)	松阪市	市長	H13. 7. 13	H13. 9. 21	H13. 11. 4	復旧整備
旧諸戸氏庭園	桑名市	市教育長	H13. 9. 25	H13. 10. 2*	H14. 3. 29	説明板改修等
谷川土清旧宅	津市	市長	H13. 12. 18	H14. 1. 18	H14. 3. 15	便所管理人室改修等
正法寺山荘跡	関町	町長	H14. 2. 21	H14. 2. 26*	H14. 3. 26	井戸枠改修等
長野氏城跡	美里村	村長	H14. 2. 22	H14. 2. 25*	H14. 5. 23	立木伐採

② 国指定史跡齋宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	27件	内、法定受託事務等による許可 7件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	7件	内、法定受託事務等による許可 5件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	0件	内、法定受託事務等による許可 0件
計画的発掘調査のための申請	3件	内、国庫補助金による計画発掘調査 3件
計	37件	

③ 国指定天然記念物現状変更

(\*印は県等の法定受託事務等による許可)

件名	所有者 管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
大島暖地性植物群落		尾鷲海上保安部長	H13. 7. 10	H13. 8. 30	H13. 8. 30	灯台保守のため周辺草木伐採
椋本の大ムク		芸濃町教委	H13. 11. 5	H13. 12. 7	H14. 3. 29	風による支枝の折損部の修復と樹勢回復
熊野の鬼ヶ城	熊野市	七里御浜鯉のぼりの会	—	H13. 3. 29* (熊野市許可)	—	鯉のぼり用ロープと横断幕の一次的設置
		熊野市長	H13. 7. 16	H13. 7. 19* (熊野市許可)	—	花火用筒等の一次的な設置
オオサンショウウオ		水資源開発公団	H13. 5. 14	H13. 6. 15		生態調査
		三重県知事	H13. 8. 2	H13. 8. 17*	H13. 10. 15	生息状況調査
		三重県知事	H13. 8. 29	H13. 10. 19	H14. 3. 11	工事に伴う一時捕獲および移動
		三重県知事	H13. 10. 4	H13. 11. 16		工事に伴う一時捕獲および移動
		三重県知事	H13. 10. 10	H13. 12. 7		工事に伴う一時捕獲および移動
		三重県知事	H13. 10. 15	H13. 11. 16		工事に伴う一時捕獲および移動
ネコギギ		日本道路公団亀山工事事務所長	H13. 5. 9	H13. 6. 15		工事に伴う一時捕獲
		三重県知事	H13. 5. 15	H13. 5. 28*		魚介類調査
		国交省北勢国道工事事務所長	H13. 6. 25	H13. 8. 30*	H14. 7. 9	生息状況調査
		紀勢町長	H13. 7. 6	H13. 7. 17*	H13. 7. 25	生息状況調査
		三重県知事	H13. 7. 24	H13. 10. 19	H14. 1. 28	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H13. 7. 30	H13. 8. 7*	H13. 11. 2	生息状況調査
		三重県知事	H13. 7. 31 他1件	H13. 9. 19	H13. 12. 20	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県津農林商工部長	H13. 8. 1	H13. 8. 6*	H13. 9. 4	生息状況調査
		紀勢町長	H13. 8. 1	H13. 10. 19		工事に伴う一時捕獲及び移動

ネコギギ	三重県知事	H13. 8. 2	H13. 9. 4 *	H13. 10. 22	生息状況調査
	三重県知事	H13. 8. 2	H13. 9. 19 *	H13. 12. 20	生息状況調査
	三重県南志 農林商工部 長	H13. 8. 7	H13. 8. 14 *	H13. 10. 25	生息状況調査
	三重県知事	H13. 8. 17	H13. 9. 12 *	H13. 12. 6	生息状況調査
	三重県知事	H13. 8. 17 他10件	H13. 10. 23 *	H13. 12. 20他	生息状況調査
	三重県知事	H13. 8. 28	H13. 9. 12 *	H13. 12. 17	生息状況調査
	三重県津農 林商工部長	H13. 9. 4	H13. 10. 19		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	三重県知事	H13. 9. 25	H13. 10. 30 *	H13. 12. 26	生息状況調査
	三重県知事	H13. 9. 26 他3件	H13. 11. 16		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	三重県知事	H13. 10. 25 他13件	H13. 12. 21		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	三重県知事	H13. 10. 26	H13. 11. 28 *	H14. 1. 28	生息状況調査
	三重県知事	H13. 10. 29	H13. 12. 21		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	三重県知事	H13. 10. 30	H13. 11. 7 *		生息状況調査
	三重県知事	H13. 11. 9	H14. 2. 23		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	三重県知事	H13. 11. 28	H13. 1. 18		工事に伴う一時 捕獲及び移動
	度会町長	H13. 12. 19	H13. 1. 29	工事に伴う一時 捕獲及び移動	
カモシカ	日本カモシ カセンター 理事長	H13. 9. 23	H13. 11. 13	H13. 11. 13	ニホンカモシカ の動物園間の譲 受け

④ 国指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出者	届出日	滅失日	滅失内容
カモシカ	飯高町教委	H13. 7. 2	H13. 6. 30	飯高町で雌の衰弱個体を発見、保護したが死亡。死因はパラボックス病と診断。
	大内山村教委	H13. 7. 24	H13. 7. 20	大内山村で雄の死亡個体を発見。死因はパラボックス病と思われる。
	大内山村教委	H13. 10. 10	H13. 10. 8	大内山村で雄の衰弱個体を発見。その後死亡。死因はパラボックス病と思われる。
	北勢町教委	H13. 10. 30	H13. 10. 28	北勢町で死亡骨格を発見。老齢個体であり転落死と見られる
	北勢町教委	H13. 12. 4	H13. 12. 3	北勢町で雄の死亡個体を発見。死因はパラボックス病と思われる。
	宮川村教委	H13. 12. 6	H13. 12. 3	宮川村で雌の死亡個体を発見。死因はパラボックス病および転落によると見られる。
	宮川村教委	H13. 12. 25	H13. 12. 18	宮川村で雄の死亡個体を発見。皮膚に疾患が見られたが死因は不明。
	北勢町教委	H14. 1. 22	H14. 1. 19	北勢町で雄の死亡個体を発見。死因は転落死と思われる。
	藤原町教委	H14. 3. 5	H14. 3. 3	員弁地区生活安全協会員により発見。被弾等の形跡もなく死因は不明。

ネコギギ	伊勢市教委	H13. 8. 9	H13. 8. 13	横輪川でアユ網による誤捕。標本にして県立博物館で保存
椋本の大ムク	芸濃町教委	H13. 7. 24	H13. 7. 20	西側の支枝が風により折損した。
熊野の鬼ヶ城	熊野市教委	H13. 8. 22	H13. 8. 1	鬼ヶ城水谷付近で直径2 m程の岩石が数個崩落した。

⑤ 国指定史跡等き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
谷川土清旧宅	津市	H13. 8. 24	H13. 8. 21	台風11号により、建物妻部分の土壁が約2 m <sup>2</sup> 崩落。

⑥ 国指定文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
末広橋梁	日本貨物鉄道	H13. 8. 29	H13. 9. 29～ H13. 9. 30	橋桁稼働部のリンクアーム及び接続ピン交換

⑦ 国登録有形文化財現状変更届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
伊勢河崎商人館 離れ・北蔵二	伊勢市	H13. 11. 1	H13. 12～ H14. 3	外壁の復旧改修

⑧ 国指定文化財の勧告・承認出品

件名	所有管理者	出品施設	出品期間	出品区分
紙本墨書勸進帳	大福田寺	独立行政法人 国立博物館	H13. 4. 1～H14. 3. 31	国による出品承認
絹本著色釈迦八道成道図				国による出品勧告
絹本著色聖徳太子像	四天王寺	大阪市立博物館	H13. 4. 1～H14. 3. 31	国による出品承認
絹本著色藤堂高虎像		独立行政法人 国立博物館		国による出品勧告
絹本著色聖徳太子勝鬘経講讃図	西来寺	独立行政法人 国立博物館	H13. 4. 1～H14. 3. 31	国による出品勧告
伊勢国朝熊山経ヶ峰 経塚出土品の内4点	金剛證寺	独立行政法人 国立博物館	H13. 4. 1～H14. 3. 31	国による出品勧告

⑨ 国指定文化財（県内所在）の公開申請

（\*印は県等の法定受託事務等による許可）

件名	所有管理者	申請者 （公開施設）	許可日	公開期間	公開理由
虎関師錬禅墨蹟坐禅語	諸戸精孝	桑名市博物館 （同上）	H13. 6. 15*	H13. 10. 20～ H13. 11. 25	桑名市博物館主催 「諸戸家所蔵品展」に出展
据台付子持はそう	神宮	文化庁（大英博物館）	文化庁より通知	H13. 9. 5～ H13. 12. 2	海外展示「古代日本の聖なる美術」に出展
木造男神坐像	伊奈富神社				
絹本著色聖徳太子像	四天王寺	東京都美術館 ほか（東京都美術館）	H13. 10. 18	H13. 10. 20～ H13. 12. 16	「聖徳太子展」に出展
絹本著色聖徳太子勝鬘経講讃図	西来寺				

⑩ 国指定文化財所有者変更

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
三島平茶碗	諸戸精孝	財)諸戸会	H14. 3. 14	H14. 6. 24	H14. 8. 19	財団への寄付
虎関師鍊墨蹟						
大覚禅師墨蹟						

⑪ 所有者等以外の重要文化財公開施設の承認

公開承認施設	承認日	承認期間
四日市市立博物館	H13. 12. 26	H13. 12. 26 ~ H18. 12. 25
齋宮歴史博物館	H13. 12. 26	H13. 12. 26 ~ H18. 12. 25

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

件名	所有者管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
桑名城跡	桑名市	市長	H13. 7. 26	H13. 8. 6	H14. 1. 29	園路等改修工事
		市長	H14. 1. 10	H14. 1. 25		サイン整備工事
諸戸精文庭園	諸戸精孝ほか	諸戸精孝ほか	H13. 6. 8	H13. 6. 15	H13. 9. 20	公開準備便所改修
田丸城跡	玉城町	町長	H13. 6. 25	H13. 8. 1		中学校運動場改修 (試掘調査を実施)
		町長	H13. 6. 25	H13. 7. 10		遊歩道整備工事 (発掘調査を実施)
		町長	H14. 1. 16	H14. 1. 18	H14. 1. 29	北の丸ほか試掘 (下の事前試掘)
		町長	H14. 1. 29	H14. 1. 29		遊歩道設置及び 木竹伐採
松阪城跡	松阪市	市長	H13. 8. 6			石積水路等整備

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有者管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
長太の大クス	南長太第一自治会	南長太第一自治会	H13. 4. 6	H13. 4. 18		樹勢回復
佐波留島	尾鷲市	三重県知事	H13. 9. 4	H13. 9. 12* (尾鷲市許可)	H13. 9. 14	鳥獣保護区設定効果調査
鈴島暖地性植物群	紀伊長島町	尾鷲教育事務所	H13. 9. 7	H13. 9. 12	H13. 9. 21	自然観察会および事前調査
地藏大マツ	西玉垣町自治会	西玉垣町自治会	H13. 9. 10	H13. 9. 27		樹勢回復

③ 県指定有形文化財現状変更

件名	所有者管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
旧三重県第三尋常中学校	三重県	上野高校長	H13. 7. 13	H13. 7. 17	H13. 7. 21	教育相談室冷房設備設置

④ 県指定史跡及び名勝等修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
八鬼山の一里塚及び熊野街道八鬼山道	尾鷲市	H14. 2. 28	H14. 2. 28	大雨による橋付近道路の流失修理

⑤ 県指定有形文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
神宮祭主職舎	神宮	H13. 7. 10	H13. 7 初～ H13. 11. 14	本館車寄せ屋根の修理
観音寺仁王門	観音寺	H13. 8. 1	H13. 1～ H13. 11. 15	再塗装・鳩除けネット設置

⑥ 県指定天然記念物き損届

件名	届出者	届出日	き損日	き損内容
矢頭の大スギ	波瀬神社	H13. 8. 24	H13. 8. 21	台風11号により、先端近くの径約40cmの支枝が折損
フウラン群生地	東 恭司	H14. 3. 4	H14. 2. 15	指定の半数以上のフウランが盗難される。警察に連絡し捜査を依頼

⑦ 県指定有形文化財き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
入交家住宅	入交章	H13. 3. 30	H13. 3. 25	格子戸・竹柵等に一部破損

⑧ 県指定文化財所有者変更

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
石造六地藏笠塔婆	海住磯八	海住 肇	H14. 3. 25	H14. 3. 25	H14. 4. 2	相続
推敲亭 諸戸(宗)家住宅 諸戸精文庭園	諸戸綾子 諸戸精孝	財)諸戸会	H14. 3. 14	H14. 6. 24	H14. 7. 1	財団への寄付
入交家住宅	入交 章	上野市	H14. 1. 29	H14. 7. 30	H14. 7. 31	公有化

⑨ 県指定文化財所在場所の変更

件名	所有者	旧所在地	新所在地	変更日	届出日	受理日	変更理由
石造六地藏笠塔婆	海住 肇	一志郡美杉村 下多気413	一志郡美杉村 下多気410-1	—	H14. 3. 25	H14. 4. 2	表示修正

⑩ 県指定文化財所在場所の変更

件名	所有管理者	変更場所	変更期間	変更理由
上野天神祭山車幕	鍛冶町	東京国立博物館	H13. 6. 11～ H13. 8. 31	東京国立博物館ほか主催「天神さまの美術」に出展
上野天神祭供奉面のうち4面	紺屋町	東京国立博物館ほか	H13. 6. 11～ H13. 12. 20	
木造薬師如来立像	東明寺	東明寺新収蔵庫	H13. 9. 2～	新収蔵庫完成による移動
木簡(柚井遺跡出土)	伊東春夫	美濃加茂市民 ミュージアム	H13. 9. 18～ H13. 10. 31	美濃加茂市民ミュージアム主催「文字の登場、そして広まり」に出展
近世初期上方子供絵本	射和町自治会	東京国立博物館	H13. 9. 17～ H13. 12. 3	東京国立博物館主催「美術の中のこどもたち」に出展
松浦武四郎関係資料	三雲町	朝日町歴史博物館	H13. 10. 10～ H13. 11. 30	朝日町歴史博物館主催「三重の旅人たち」に出展
木造天神像	菅原神社	大阪市立美術館	H13. 11. 23～ H13. 12. 9	大阪市立美術館主催「天神さまの美術」に出展



棟札	美濃夜神社	芸濃町教育委員会	H13. 10. 20～	町教育委員会へ寄託保管による移動
常光坊谷4号墳出土品のうち2点	松阪市	三重県営サンアリーナ	H13. 11. 28～ H13. 11. 29	天皇ご視察時の「三重の埴輪」に出展

⑪ 県指定文化財の撮影掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県	NHK 中部ブレイズ	H13. 6. 20	H13. 6. 22	NHK テレビ番組「ごちそう賛歌」で放映
		放送映画製作所	H14. 1. 25	H14. 1. 30	MBS テレビ番組「真珠の小箱」で放映
		津市教育委員会	H14. 2. 20	H14. 3. 11	「津市ホームページ」への掲載
		NHK 中部ブレイズ	H14. 3. 7	H14. 3. 11	NHK テレビ番組「ごちそう賛歌」で放映

⑫ 所有者等以外の三重県指定有形文化財・有形民俗文化財公開施設の承認

公開承認施設	承認日	承認期間
四日市市立博物館	H13. 12. 26	H13. 12. 26 ～ H18. 12. 25
斎宮歴史博物館	H13. 12. 26	H13. 12. 26 ～ H18. 12. 25
三重県立美術館	H13. 12. 26	H13. 12. 26 ～ H18. 12. 25

#### 4 文化財の公開・普及

(1) 文化財講習会 (第19回)

- ・目的 文化財保護に携わっている三重県文化財調査員、県及び市町村文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
- ・主催 三重県教育委員会  
三重県指定文化財等所有者連絡協議会
- ・期日 平成13年11月30日(金)
- ・場所 津市図書館 視聴覚室
- ・参加者 124名
- ・内容 ①「文化財の保存と日常管理について」  
佐野 千絵氏(東京文化財研究所 保存科学部生物科学研究室 室長)  
②「文化財の保存と活用」  
和田 勝彦氏(四日市市立博物館 館長)  
※ 上記の講演のほかに、重要文化財専修寺御影堂保存修理現場の見学会も併せて開催。

(2) 第43回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会・平成13年度国際民俗芸能フェスティバル

- ・趣旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高める事を目的とする。  
また、今年度は国際民俗芸能フェスティバルとして大韓民国の民俗芸能団体も出演した。
- ・主催 文化庁・滋賀県教育委員会  
平成13年度国際民俗芸能フェスティバル・第43回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
- ・後援 大津市教育委員会・朝日新聞社大津支局・毎日新聞社大津支局・産経新聞社大津支局・読売新聞社大津支局・中日新聞社大津支局・京都新聞滋賀本社・日本経済新聞社大津支局・日本放送協会大津放送局・共同通信社大津支局・時事通信社大津支局・京都放送滋賀総局・びわ湖放送

- ・協 賛 全国民俗芸能保存振興市町村連盟
- ・期 日 平成13年10月7日(日) 12:00~16:40
- ・会 場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール
- ・出演団体 阿野田羯鼓踊(三重)・伏木帆柱起し祝唄(富山)・黒崎土ねり節(石川)・明神ばやし(福井)・白鳥の拝殿踊り(岐阜)・ばしょう踊り(愛知)・下笠のサンヤレ踊り(滋賀)・石川大命神社の笹ばやし(京都)・淀川三十石船船唄(大阪)・真浦の獅子舞(兵庫)・出谷の盆踊り(奈良)・大窪の盆踊り(和歌山) 珍島の芸能(大韓民国)

(3) 紀伊半島民俗芸能祭

- ・主 催 奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・三重県教育委員会・桜井市教育委員会
- ・後 援 文化庁・全国民俗芸能保存振興市町村連盟・和歌山県民俗芸能保存協会・奈良県・和歌山県・三重県・桜井市・桜井宇陀広域連合・室生村教育委員会・高野口町教育委員会・下津町教育委員会・津市教育委員会・松阪市教育委員会
- ・期 日 平成13年11月18日(日) 12:30~16:10
- ・場 所 奈良県桜井市 桜井市民会館 ホール
- ・参 加 者 約1,000人
- ・出演団体 三重県 しゃご馬(津市)・松ヶ崎かんこ踊り(松阪市)  
奈良県 大神神社のオンダ(桜井市)・龍口の獅子舞(室生村)  
和歌山県 塩津のいな踊(下津町)・嵯峨谷の神踊り(高野口町)
- ・附帯事業等 特別講演「民俗芸能の意味」 文化審議会文化財部会専門委員 植木行宣  
写真展「民俗芸能を支える人とわざ」  
三重県「和太鼓の製作技術」・奈良県「奈良晒の紡織技術」・和歌山県「那智の火祭の松明」  
写真展「桜井の祭と行事」  
特別展示 小夫の盆踊り(桜井市小夫)の音頭台

(4) 文化財保護強調週間行事(11月1日~7日)

① 三重県事業

実施事業名	実施内容	実施場所	実施日	参加者数
「みんなのつくった標本展」	夏休みの自由研究でつくった昆虫や植物・化石などの標本展	三重県立博物館	11/1~11/7	200
「三重の古文書・番外編」	13世紀から16世紀までの県指定文化財古文書を展示	三重県立博物館	11/3~11/25	-
特別展記念講演会 「絵物語は姫君にどのような役割を果たしたか」	王朝期の女性教育の紹介と斎王の教育事情についての講演(源氏物語や伊勢物語を通して) 講師 大阪大学大学院教授 伊井春樹氏	斎宮歴史博物館	11/3	138

② 市町村事業

市(区)町村名	実施事業名	実施内容	実施場所	実施日	参加者数
鈴鹿市	平成13年度特別展 「耳飾り(古くて新しい身体加工)」	金製垂飾付耳飾や土製耳飾を中心に耳飾の移り変わりを展示	鈴鹿市考古博物館	10/6~12/2	約1,500
鈴鹿市	佐佐木信綱記念館特別展	信綱のふるさと~父弘綱と石薬師をテーマに展示	佐佐木信綱記念館	10/24~12/2	約1,200
亀山市	企画展 「亀山領内の東海道絵図」	東海道宿場・伝馬制度制定400周年を記念して亀山領内にかかる東海道の絵図を展示	亀山市歴史博物館	10/1~12/3	236

上野市	企画展「米作りの昔と今～農耕具の歴史を振り返って～」	米作りに使用した道具－考古資料・民俗資料の展示	上野市歴史民俗資料館	11/4～ 12/24	73 (11/4～11/7)
藤原町	藤原町文化祭	特別展示を行う（文化財：仏像・茶碗）	町民文化センター	11/3.4	約1,000
朝日町	東海道宿場伝馬制度制定400周年記念特別展「三重の旅人たち」	松尾芭蕉など三重県出身の文化人の歴史資料を展示	朝日町歴史博物館	10/13～ 11/18	1,297
芸濃町	出土遺物の貸出	第40回倉陵祭（皇学館大学学園祭）「芸濃町の遺跡と遺物」展示遺物の貸出	皇学館大学	11/2～ 11/4	250
南勢町	「愛洲の館」無料開放	町内文化財等を収納展示する資料館を無料開放する	愛洲の館	11/1～ 11/4	550
海山町	文化財パトロール	町指定文化財をパトロールする	町内	11/7	5

(5) 文化財防火デー関連行事実施状況

県		市 町 村												小 計	
		市			町			村							
実施箇所数	実施件数	実施市数	実施箇所数	実施件数	実施町数	実施箇所数	実施件数	実施村数	実施箇所数	実施件数	実施数	実施箇所数	実施件数		
1	3	12	83	155	27	85	139	6	9	18	45	177	312		



紀州半島民俗芸能祭



天然記念物 紀州犬審査会



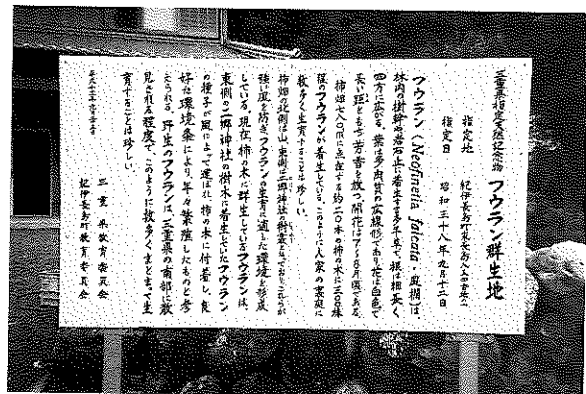
天然記念物 日本鶏審査会



天然記念物 日本鶏審査会



三重県文化財講習会



指定文化財説明板 フウラン群生地（紀伊長島町）

# 三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成14年3月31日現在

種 別		国	県	市町村	計
重要文化財 有形文化財	建造物	18	37	139	194
	絵画	19	27	87	133
	彫刻	63	90	250	403
	工芸品	17	50	180	247
	書跡・典籍・古文書	36	50	203	289
	考古資料	8	19	63	90
	歴史資料	3	1	22	26
無形文化財	工芸技術	2	1	4	7
	芸能	0	1	3	4
民俗文化財	無形民俗文化財	7	32	135	174
	有形民俗文化財	1	22	88	111
記念物	特別史跡	1	0	0	1
	特別天然記念物	2	0	0	2
	特別名勝及び天然記念物	1	0	0	1
	史跡	31	65	180	276
	史跡及び名勝	0	2	4	6
	史跡及び天然記念物	0	0	0	0
	名勝	3	9	6	18
	名勝及び史跡	2	0	0	2
	名勝及び天然記念物	0	1	1	2
	天然記念物（地域を定めず）	9	4	0	13
	天然記念物	16	78	132	226
	天然記念物及び名勝	1	0	0	1
小 計		240	489	1,497	2,226
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	0	0	1
文化財の保存技術		0	0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		14	5	0	19
登録文化財		42	0	0	42
合 計		297	494	1,497	2,288

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

## 三重県の文化財保護 — 平成13年度 —

●発行 / 2003. 3    ●編集 / 三重県教育委員会    ●印刷 / 伊藤印刷株式会社

この冊子は古紙配合率は100%、白色度82%の再生紙を使用しています。